

長ヲ町村會ノ議長ト爲シ及ヒ區町村ノ怠納者ヲ公賣處分ニ付スルノ民情ニ適合セサルニ在レトモ既ニ前案ヲ賛成セシ以上ハ本案ニ對シテモ異論ヲ唱ヘサルナリ

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス  
書記官 森山茂 朗讀

區町村會法

第一條 區町村會ハ區町村費ヲ以テ支辨スヘキ事件及其經費ノ支出徵收方法ヲ議定ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第二條 區町村會ノ會期、議員ノ員數、任期、改選及其他ノ規則ハ府知事縣令之ヲ定ム

○二十七番 箕作麟祥 少シク修正ヲ加ヘン前議案ニ付託修正委員ノ修正セシ如ク議員選舉ノ員數ト爲ス是ナリ若シ本條ニ選舉ノ二字ヲ挿入スルニ決セハ第九條第十條ヲ修正スルヲ要ス某議官ハ本案ハ内閣ニ於テ決行スルニ意アルヲ以テ一句隻字モ修正ヲ加ヘスト主張シ内閣ニ向テ發布後ニ改正ヲ望ム者ノ如クナルモ本官ノ考フル所ニ據レハカメテ發布前ノ今日ニ於テ中庸ノ法制タラシメサル可ヲ

ス完備ナラサル法案タルヲ知テ而モ修正ヲ加ヘスト云フハ恐クハ忠實ニ負カン要スルニ本案ノ如ク方正嚴格ヲ以テ主眼ト爲シ町村會議員ノ資格ヲ畫一ニ出テシムルハ甚タ今日ノ時態ニ適合セス故ニ地方長官ニ委任シテ適宜ニ處理セシムルニ如カス故ニ前付託修正委員ノ修正ノ如クセンコトヲ望ム

○一番柴原和 二十七番ヲ賛成ス選舉ノ二字ヲ加ヘシハ前キニ三案連帶ノ時ニ於テ本官等ノ修正セシ所ナリ此再議案ニハ多少前會ノ修正ヲ採用セラレシモ選舉ノ文字ヲ插入スルト戸長ヲ議長ト爲スヲ不可ナリトセル意見ハ遂ニ棄却セラレタリ更ニ審考スルニ戸長ヲ以テ議長ト爲スコトハ熱心ニ主持セサルモ議員選舉ノコトニ至テハ地方長官ニ委任スルヲ可トス現行區町村會規則第三條ニハ其會

則ヲ定メテ府知事縣令ノ裁可ヲ仰カシメタルニ今ヤ俄カニ法律ヲ以テ選舉權ヲ定ムルハ恐クハ急激ニ非サル無キヲ得ゾヤ實ニ今日ニ在テハ選舉ノコトヲ府知事縣令ニ委任スルヲ以テ中庸ヲ得タリトス故ニ本官ハ本條ニ選舉ノ文字ヲ插入シ第九條第十條ヲ削除セントスル動議ヲ聞キ喜テ之ニ左袒スルナリ

○十九番上杉茂憲 本官モ本案ヲ完備ノ者ト看サレトモ内閣ノ決行セントスルヲ知ルヲ以テ復タ廢棄說ヲ提唱セス但シ本案ハ嚴格ニ過クテ以テ二十七番ノ修正說ノ如ク寛和スルヲ可トス故ニ本條ニ選舉ノ文字ヲ添ヘ第九條第十條ヲ削除スル修正說ヲ賛成ス

○四十二番渡邊洪基 本官モ二十七番ヲ賛成ス第九條第十條ノ地租ヲ納ムル有無ヲ以テ選舉權ヲ與奪スル如キハ本官ノ尤モ非視スル所ナ

リ人民ノ土地ヲ有スルハ財産ノ一部分ナルノミ區町村費ヲ出ス如キ概シテ土地ノ收利ヲ以テ之ニ充ルニ非ス若シ本案ノ如クセハ資産ヲ擁シ智識ヲ有スル人ト雖モ地租ヲ納ムル有無ニ束縛セラレ選舉權ヲ得ル能ハサラントス本官ノ相識ル一富豪ノ如キハ其家法ニ於テ地所ヲ有セス但シ村會ハ多クハ農民ヲ以テ組織スレハ地租ヲ納ムル有無ヲ以テ選舉權ヲ與奪スルヲ得レトモ區會ニ至テハ工商ノ二者ヨリ成立シ地租ヲ納ムル有無ヲ以テ選舉權ヲ與奪スルハ其當ヲ得ス府縣會ノ如キハ其區域較ヤ廣大ナルニ因リ地租ヲ以テ選舉權ヲ定メシモ之ヲ町村會ニ推及スルハ不可ナリ且夫レ府縣會ト雖モ地租ヲ以テ選舉權ヲ定ムルヨリシテ工商ハ富資ヲ擁スルモノニ與カルヲ得ス議論偏頗ニ陷ルノ弊害ヲ見ル唯其年齡住居云云ノ

制限ハ之ヲ存スルモ可ナリ然レトモ此等ハ素ヨリ府知事縣令ノ適宜ニ規定スルヲ得レハ之ヲ削ルモ事ニ妨ケ無カル可シ要スルニ一町村ノ狹隘ナル區域ニ對シ地租ヲ納ムル有無ニ依テ選舉權ノ制限ヲ立ルハ其扞格シテ行ハレサル可キヲ信ス若シ不幸ニシテ此修正說ノ消滅スル有ラハ第九條第十條ニ至リ更ニ修正ノ意見ヲ提出セントス

○三十二番 大鳥圭介 本官モ二十七番ヲ賛成ス本官ハ戸長ヲ以テ議長ト爲スヲ不可トシ議員ノ資格ヲ定ムルニモ修正ノ意見ヲ抱キシニ二十七番ノ修正ノ如クセハ次下ノ條項ニ關シテモ頗ル宜キニ合フヲ見ルナリ地租ノ制限ヲ不可トスルハ四十二番ト同感ナリ

○議長 二十七番ノ動議ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○番外二番牧村 今日既ニ區町村會ヲ設立セル以上ハ其會ヲ組織スル議員ノ資格ヲ定メサル可ラス又其資格ヲ定メントセハ第九條第十條ヲ存セサル可ラス然ラサレハ議員ノ資格ニ異同ヲ生シ甲縣ニ在テハ財産多キ者ヲ議員ト爲スモ乙縣ニ在テハ財産乏キ者ヲ議員ト爲ス無キヲ保セス任期其他會則等ハ地方長官ニ委任シテ可ナルモ選舉權ト被選舉權トヲ定ムルハ法律ニ明掲シ全國畫一ニ出テシメサル可ラス某議官ハ地租ヲ納ムル有無ニ關シ制限ヲ立ルハ不可ナリト云ヘリ若シ之ヲ不可ナリトセハ宜ク修正ヲ加フヘク此カ爲メニ本條ニ選舉ノ二字ヲ插入シ以テ府縣長官ニ委任ス可シト云フハ不可ナリ要スルニ議員ノ資格ヲ定ムルコトヲ各府縣ノ便宜ニ委スハ宜キヲ得ス縱令今日以前ハ地方ノ便宜ニ委セシモ其會法ヲ改正

スルニ當テハ之ヲ舊慣ニ仍ラシム可キニ非サルナリ

○十四番井田

本官モ二十七番ヲ賛成ス只今番外二番ハ二十七番ノ修正說ヲ排駁シテ議員ノ資格ハ必ス畫一ニ出テシメサル可ラスト云ヘリ然レトモ現今僻地人民ノ濛昧ナルハ新聞紙ニ徴スルモ明瞭ナリ聞ク某村ニ於テ村會ノ議員ヲ改選セントスルニ際シ其費用ハ政府ヨリ下付セラル可シト云ヘリト此ノ如キ無智人民ノ居住スル地方ハ管轄長官ノ適宜ニ其議員ノ資格ヲ定メシムルヲ至當ト爲ス番外二番ハ「地租」云云ノコトハ修正スルモ可ナリト云フモ其之ヲ修正スルハ甚々難事ニ屬ス何トナレハ地租ヲ除クトキハ祿券等ノ多寡ヲ以テ財産ヲ定メサル可ラス然ルニ法文ニ祿券云云ト記載スルハ體裁ヲ得ス此等ハ法文ニ揭示セサルモ地方長官ニ委任セハ事

ニ支障スル無キナリ故ヲ以テ議員ノ資格ヲ定ムルハ地方長官ノ便宜ニ委シテ此ニ選舉ノ文字ヲ挿入シ而シテ第九條第十條ヲ削除スルヲ得タリトス

○二十七番 箕作麟祥

番外二番ノ辨明ハ一理アルニ似タレトモ全國畫一ノ法制ニ歸セシメント云フハ事ニ支障スル有ラン見ニ下付原案ノ如キ亦畫一ニ出テサルナリ其地租ヲ納ムル者ニ限ルト言フハ法文ニ於テ一定ニ歸スルモ地租ノ制限ヲ立ル者ハ地方長官ナレハ各自ノ意見ニ隨フテ必ス差異ヲ生セントス即チ甲縣ニ於テハ彈丸黒子ノ地所ヲ有スル者モ選舉權ヲ有シ乙縣ニ於テハ地租若干圓以上ヲ納ムル者ノミ選舉權ヲ有スル如キ差異ヲ生セントス議員任期ノ一事モ亦然ラン是レ下付原案ト雖モ既ニ畫一ナルヲ得サル所以ナ

リ故ニ若シ區町村會法ヲ畫一ニ歸セシメントナラハ必ス府縣會法ノ如クシ以テ始メテ可ナルノミ畢竟本案ノ改正ヲ要スルハ今日議會ハ書生輩ノ淵叢ト爲リ無用ノ會費ヲ要スル如キ弊害ヲ矯正セントスルニ在レハ其旨趣ハ不可ナル無キモ急激ニ過クルヲ以テ本官ハ前會ニモ廢棄說ヲ提唱シタリ現行法ニ於テハ區町村便宜ニ會則ヲ定ムルヲ以テ縱令弊害ノ生スルモ地方長官之ヲ奈何トモスル能ハス然ルニ本案ハ地方長官ノ關涉シ得ル者ナレハ必シモ法律ヲ以テ選舉權其他ノ規約ヲ定メサルモ可ナリ各地方既ニ宜キヲ異ニスル以上ハ地方長官ノ便宜ニ隨セテ裁定スルハ至當ノ處分ナル可シ然ルニ番外二番ハ議員ノ選舉被選舉ニ限リ特ニ畫一ノ法制ヲ施サント云フモ任期等ノ同一ナラサレハ其目的ヲ達スル能ハサルヲ奈

何セン不幸ニシテ本官ノ動議消滅セハ第三讀會ニ再ヒ提出スルカ  
或ハ四十二番ノ豫陳說ニ左袒スル有ル可シ願クハ本問題ニ可決セ  
ンコトヲ

○議長 午時ヲ過キタルヲ以テ午餐ノ爲メニ散會シ午後開會セン

午後零時十分閉場

午後第一時十五分開場

退席 十四番 井田 讓

同 十六番 福原 實

同 二十番 官本 小一

同 三十八番 長岡 護美

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○三十三番 神田 孝平 現問題ニ關シ一言セン向キニ某議官ハ第九條第十

條ヲ削除ス可シト云ヒシモ本官ハ強テ兩條ノ存廢ニ異見ヲ有セス

唯地租制限ノ事件ニ關シテハ四十二番ト同感ニシテ議員ノ資格ヲ

定ムルニハ地租ヲ納ムル有無ニ限ラサルヲ欲ス凡ソ國稅ニハ數種

アリ東京府下ノ如キハ家屋稅最モ重キニ居ル故ニ此等ヲモ參酌セ

サル可ラス且夫レ地方ノ情況ニ徴スルモ土地ヲ有スル人民ハ僅ニ

指ヲ屈スルニ過キス而シテ土地ヲ有セサル人民ニシテ却テ富豪ナ

ル甚タ多シ果シテ本案ノ如クスルトキハ被選舉人ノ員數ハ選舉人

ヨリ多キヲ見ルニ至ラン故ニ本官ハ地租ヲ以テ選舉被選舉ノ資格

ヲ立テサランコトヲ欲ス第九條第十條ヲ修正スルモ可ナレトモ此

説果シテ行ハルルヤ否ヤヲ知ラサルヲ以テ本條ニ先ツ選舉ノ二字ヲ插入シ以テ制限ヲ立ルニ地租ノミニ依ラサル方法ヲ設ルヲ要ス因テ四十二番ノ豫陳說ヲ賛成シ併セテ本官ノ意見ヲ陳ス

○四十二番 渡邊 洪基

本官モ第九條第十條ニ修正ヲ加フル意見ヲ懷キシカ現問題ノ如ク第二條ニ選舉ノ二字ヲ添ルハ尤モ好シ畢竟現行法ノ改正ヲ要スル所以ハ町村會ノ組織ニ障碍スル爲メニ非ス即チ行政上ノ處分ニ窒礙スルニ由ル然リ而シテ議員ノ員數任期及ヒ改選ノ如キハ從來各町村互ニ其制ヲ異ニセシモ事實支吾ヲ致セル多キヲ以テ此等ハ地方長官ノ裁定ニ委任シ一定ニ歸セシメサル可ラス故ニ第二條ニ於テ議員ノ資格ヲ釐定シ以テ便宜ヲ圖ルナリ蓋シ議員ノ資格ノ制限及ヒ其任期ノ伸縮ハ固ヨリ地方長官ノ適宜ニ委ス

可ク若シ其實行以後ニ支吾ヲ見ルトキハ時ニ臨ミ改正ヲ加ヘンノミ然ルニ第九條第十條ノ如ク嚴密ノ規約ヲ法文ニ掲載スルトキハ必ス扞格行ハレ難キ有ラントス故ニ本官ハ現問題ノ如クセンコトヲ欲ス若夫レ不幸ニシテ消滅セハ第九條第十條ヲ議スルニ當リテ更ニ修正ノ意見ヲ提出セントス

○番三番 白根 專一

午前ニ於テ番外二番ノ説明セシ如ク議員ノ資格ハ法文ニ於テ一定セサル可ラス若シ選舉ノ文字ヲ本條ニ插入シテ第九條第十條ヲ削ルトキハ當ニ法文ノ完全ヲ缺クノミナラス實際ニ大支障ヲ生セントス第九條第十條ハ未タ議題ニ上ホラサルモ議員資格ノコトハ原ト本條ト關連スルヲ以テ此ニ併論センニ現問題ノ如ク本條ニ選舉ノ二字ヲ插入スルモ第九條第十條ヲ削除スルトキハ

動モスレハ未丁年者又ハ無家無産者ヲ議員ト爲シ甚キハ傍聴者ノ演説スルヲ許シ唯之ヲ可否決ノ數ニ入レサル如キ不整頓ノ議會ヲ見ルニ至ラン蓋シ地方長官ヲシテ之カ裁制ヲ爲サシメハ此ノ如ク其レ甚シキニ至ラサル可キモ選舉人被選舉人ノ年齢其他ノ制限ハ必ス法文ニ規定スルヲ要ス地租ヲ以テ議員ノ資格ヲ制限スル一件ハ午前ニ許多ノ論議出タルモ元來土地所有主ハ一町村ヲ管理スル如キ慣習アルニ因リ地租ヲ納ムル有無ヲ以テ制限ヲ定ムルモ固ヨリ窒礙ヲ見サルナリ顧フニ東京ノ市街ノ如キハ地方ノ村落ト異ニシテ土地所有者ハ寥々ナルモ選舉被選舉ニ關シテハ尙且土地ヲ有シテ地租ヲ納メ區内ニ居住スル者ニ限レリ況ヤ地方ノ村落ニ於テハヤ然ルニ某議官ハ土地所有者ノ少ナキニ由リ地租ヲ以テ制限ヲ立

テハ實際支障ヲ致スヲ憂フルモ是レ千百中ノ一二ニシテ彼ノ新田村里ノ如キハ備耕者ノ多クシテ土地所有者ノ少ナカラシノミ然レトモ此ノ如キ村里ニハ村會ヲ開クノ必要ヲ見サルヲ以テ之ヲ開カスシテ可ナリ以上ノ理由ナルヲ以テ選舉ノ文字ヲ本條ニ掲ケ而シテ第九條第十條ヲ削除スルトキハ甚タ不完全ニ歸セントス現行町村會法ニハ何等ノ人物ヲ以テ其議會ヲ組織スルヤヲ明示セス故ニ今回ノ改正ニ於テハ首トシテ議員タリ議長タル人物ノ資格及其他ノ制限ヲ一定セシナリ思フニ今日ノ町村ハ大小不同ニシテ其議會ノ議員ヲ限定スル能ハサルモ地租ヲ納ムル有無ニ依テ選舉被選舉ノ制限ヲ立テ且之ヲ法文ニ明掲スルハ固ヨリ缺ク可ラス抑モ地租ヲ除クノ外ハ家屋ナリ公債證書ナリ制限ヲ立ルニ難カラスト雖モ



地租ハ必ス其基礎ト爲ササル可ラス任期其他ノ規則ニ至テハ内務卿ノ訓示ヲ以テ之ヲ指示スルモ可ナレトモ町村會ノ編成ニ至ルマテ一々主務省ノ指令ヲ請ハシムルハ其煩勞ニ堪ヘス故ニ必ス原案ノ如クセサレハ實際ニ支障スルナリ試ミニ東京府下ヲ以テ之ヲ徵スルモ地租ヲ以テ制限ヲ立ルノ適當ナルヲ知ル此他ニ至テモ必ス然ラン尙ホ之ヲ確證セン爲メニ前キニ電信ヲ以テ京坂等ノ景況ヲ問ヒタルニ未タ其答報ヲ得サレトモ地租ヲ以テ制限ヲ立ルハ必ス同一ナル可シ故ニ此第二條ニ選舉ノ文字ヲ插入セス而シテ第九條第十條ハ修正ヲ加フルモ敢テ廢棄ニ付セサルヲ望ム

○一番柴原和

番外ハ本條ニ選舉ノ二字ヲ插入スルノ弊害ヲ辨シ且云フ地方長官ノ便宜ニ委スルトキハ未丁年者ノ議員ニ列シ又ハ傍聽

人ノ發議ヲ許ス等ノ失體ヲ見ル無キヲ保タスト然レトモ是レ決シテ里慮ヲ要セス何トナレハ目今ノ町村會ノ編成ハ町村會ノ適宜ニ委シ地方長官ハ之ニ干涉セサルヲ以テ此弊害ヲ生セシモ今回ノ法案ニ於テハ地方長官ノ裁制ヲ要スルヲ以テ未丁年者傍聽人等凡テ議員ノ資格ヲ有セサル者ノ議會ニ參與スル如キ弊害ヲ生スル無ル可シ第九條第十條ニ於テハ唯未丁年者ノ制限ヲ立ルノミニシテ傍聽人ニ對シテハ毫モ防制ヲ施サス是レ甚シキ缺漏ニ非スヤ此等ハ總テ地方長官ニ委任セハ必ス整頓スルヲ得シ某議官ハ第九條第十條ノ「地租ヲ納ムル者ニ限ル」云々ニ對シテ異論ヲ唱ヘシモ本官ハ敢テ之ヲ否認セサルナリ從來區町村會ハ一府縣内ニ於テ各其組織ヲ異ニセルモ本案ヲ發セハ必ス畫一ナラシムルヲ得シ又一村ヲ舉

ケテ小作人ニ係リ而シテ其田地ヲ所有スル者ハ却テ隣村ニ在ル如キハ往々ニ見ル所ナリ此等ノ村落ニ於テハ家屋ヲ以テ制限ヲ立ルヤ否ヤ地方官ニ委任セハ自ラ適宜ノ方法アル可シ然ラハ則チ地方官ニ委任シ第九條第十條ヲ削除スルモ固ヨリ支障ヲ見サラン只其罷慮スル所ハ未丁年者ヲ議員ト爲スノ弊害ヲ防クニ在リ番外二番ハ選舉ノ二字ヲ第二條ニ加フルトキハ各地方互ニ其法制ヲ異ニシ不整頓ノ結果ヲ見ント云フモ若シ其一様ナラサルヲ憂ヘハ任期會期モ亦一定ニ出シム可キニ似タリ然ルニ既ニ此等ノ規約ヲ地方官ノ裁定ニ委スル以上ハ選舉ノ規約モ之ニ委シテ可ナリ故ニ問題說ニ可決センコトヲ欲ス

○四十四番 三浦安

前會ニモ陳辨セシ如ク峻法ヲ設ルハ固ヨリ不可ナ

レトモ提轄法ヲ立テテ濫妄ニ流ルヲ防クハ缺ク可ラス第九條第十條ノ如キ即チ提轄ニ必須ナル者ニシテ他方ヨリ羈寓セル少年ノ無賴者ニシテ議員ト爲ルヲ防制スルヲ得ン又地租ヲ以テ議員ノ資格ヲ定ムルハ不可ナリト云フモ東京府下ノ如キ闔閭ノ土地ト雖モ尙且地租ヲ以テ制限ヲ立テタルニ非スヤ況ヤ村落ニ至テハ土著人民其多數ニ居リ人材モ亦隨テ此中ヨリ出ルヲヤ前キニ四十二番ハ富豪人民中或ハ其家例ニ於テ土地ヲ所有セサル者アリト云フモ是レ恐クハ千百中ノ一二ニ過キサラン且夫レ府縣會ニ於テ選舉被選舉ノ制限ヲ立ルモ見ニ地租ヲ以テ標的ト爲スナレハ其小部分タル區町村會ノ如キ亦必ス地租ヲ以テ資格ヲ定メサル可ラス彼ノ漁村ノ如キハ其景況ノ何如ヲ知ラサレトモ到底地租ヲ納ムル多少有無ヲ

以テ制限ヲ立テサレハ人民ノ品位ヲ確知スルニ由シ無ラン若シ然  
 ラサレハ設令一二ノ人物ヲ得ルモ選舉制限ノ區域廣泛ニ失シ遂ニ  
 老實ナル議員ノ跡ヲ掃フニ至ラン要スルニ選舉制限ヲ立ル權力ヲ  
 地方長官ニ委任スルト法律ニ於テ之ヲ定ムルトノ二點ノ論題ニ係  
 ルナリ本官ハ其孰レニ從フモ老實ナル議員ヲ得テ議場ヲ整頓スル  
 ヲ本旨ト爲ス故ニ老實ナル議員ヲ選舉スルヲ得ハ規約ハ頗ル寬大  
 ナルモ敢テ支障ヲ見サル可シ本官ハ今日地租ヲ以テ選舉被選舉ニ  
 權ノ制限ヲ定ムルハ最モ時宜ニ適スト信ス地租ヲ以テ制限ヲ立レ  
 ハ選舉ノ界域ハ少シク狹隘ナルカ如キモ老實ナル議員ヲ得テ議場  
 ノ整頓スルハ昭然ナリ問題發議者ハ縱令法律ニ「地租ヲ納ムル者  
 ニ限ル」ノ文字ヲ掲ルモ員數任期等ノ規約ヲ地方長官ノ裁定ニ委

スル以上ハ地方各自ニ差異ヲ生ス可シ本案ハ議會ノ整頓ヲ主眼ト  
 爲スナレハ地租ヲ以テ制限ヲ立ルハ必ス法律ヲ以テ確定セサル可  
 ラス故ニ第九條第十條ハ原案ノ如ク之ヲ存スルヲ要ス但此二條ノ  
 如ク地租ヲ以テ制限ヲ立ルハ選舉ノ界域ノ少シク狹隘ナルヲ爲ス  
 ノミ此ノ如クシテ適當ノ人物ヲ得サルナラハ議會ヲ開カサルモ可  
 ナリ強テ第九條第十條ヲ削除セハ本案ノ精神ヲ減耗セン故ニ原案  
 ノ存立スル以上ハ必ス此兩條ヲ削除セサルヲ要ス

退席

二十三番 神山 郡廉

○四十二番 洪邊基

四十四番ハ地租ヲ以テ制限ヲ立テサレハ無賴少年  
 輩ノ議場ヲ蹂躪スルヲ防クヲ得スト云フモ土地ヲ有スル者ハ必ス  
 老實ニシテ土地ヲ有セサル者ハ必ス輕浮ナリトハ謂フ可ラス現今

ノ府縣會議員ニモ浮薄者少ナカラサラン而シテ此等ハ皆是レ地租ヲ納ム地租豈得テ人物ノ品位ヲ確定ス可ケンヤ抑モ方今ノ景況ニ在テハ財産ノ大部分ハ即チ土地ナルヲ以テ地租ヲ納ムル多少有無ニ照シ選舉被選舉ノ資格ヲ定ムルモ畢竟土地ヲ以テ財産ノ大部分ト爲スハ甚タ不完全ナル經濟法ナリ且夫レ區町村會ノ如キハ府縣會ト異ニシテ務メテ代議者ノ界域ヲ廣濶ニシ親和協同シテ其職掌ヲ盡サシムルヲ可トス然ルヲ本案第九條第十條ノ如クセハ其法制ノ嚴格ニ過キテ親和協同ノ功力ヲ得ル能ハス本官ノ削除說ヲ提出スルハ之カ爲メナリ試ミニ東京府下ノ一例ヲ舉ンニ芝區ノ如キ本官ノ住居スル一町内ニ選舉權ヲ有スル者ハ本官一人ニシテ被選舉權ヲ有スル者ハ一人モ之レ無シ蓋シ本官ハ官人タルヲ以テ被選舉

人タルヲ得サレハナリ現狀此ノ如クナルニ本案第九條第十條ノ如キ嚴格ノ制限ヲ設ルトキハ一町村ノ費用ヲ議定スル者ハ二三人ノ少數ニ止マラン是レ甚タ公平ナラス且ヤ土地ヲ有スル者ニ地租アレハ職業ヲ營ム者ニハ營業稅アリ家屋ヲ有スル者ニハ家屋稅アリ然ルヲ選舉權被選舉權ヲ定ムルニ地租ヲ納ムル者ニ限り其他ハ概シテ此權ヲ與ヘストスルハ抑モ何如ナル事由ニ出ルヤ顧フニ現今ノ人情動モスレハ府縣會ノ議員ト爲ルヲ嫌ヒ之ヲ規避セント謀ル者往々之レ有リ恐クハ是レ其法制ノ嚴格ニ過キテ却テ公平ヲ得サルニ由ルナラン況ヤ區町村會ノ議員ニ於テヲヤ故ニ第九條第十條ノ制限ハ必ス之ヲ廢除セサル可ラス

○二十七番 笑作 麟祥 前キニ番外二番番外三番ハ本案ノ旨趣ヲ辨明シタ

ルモ四十二番ハ之ヲ駁難セリ本官ハ先ツ前議案ニ向テ考察ヲ下サ  
 シニ抑モ前議案ニ對スル付託委員ノ修正ハ素ヨリ第四百三十八號  
 議案ノ全體ヲ非視セルニ非ス然レトモ現行法ヲ廢シ新ニ府縣會規  
 則ト同一ニ改正スルヲ要セスト思考シ其理由ヲ述テ以テ内閣ノ再  
 思ヲ請求セシニ區町村費規則ハ本院上奏ノ意見ヲ採用シ悉ク之ヲ  
 收銷シテ怠納者ノ處分ノミヲ單行法ト爲セリ然レトモ區町村會法  
 ハ全ク前議案ト大同小異ニシテ依然嚴格ノ法制タリ故ニ本官ハ到  
 底前議案ニ向テ吐露セシ議論ヲ收銷スル能ハス四十四番ハ前議案  
 ニ向テハ本官ト感想ヲ同ウセシニ今日ニ至テ更ニ此嚴格ノ法案ヲ  
 贊成シ幾ント變説ト一般ナレトモ本官ハ復タ抗辨スルヲ欲セス然  
 レトモ此ニ一言ス可キハ選舉ノ一事是レナリ前キニ番外ハ選舉權

ノ裁定ヲ地方官ニ委任スルトキハ各地方ニ差異ヲ生シテ體裁ヲ失  
 スト云フモ若シ之ヲ以テ差異ヲ生スル失體アリト云ハハ員數ト雖  
 モ差異ヲ生セントス例ヘハ甲縣ハ百人ノ議員ニシテ乙縣ハ五十人  
 ノ議員ト制限スルヤ甲縣ニ在レハ被選舉權ヲ有スル者モ乙縣ニ於  
 テハ之ヲ有スルヲ得サルカ如シ到底地方長官ニ委任スル以上ハ差  
 異ヲ生スルハ固ヨリ當然ナリ員數ノ裁定ヲ内務卿ニ稟請スルヲ煩  
 勞ナリト云フモ地方長官ノ内務卿ニ指令ヲ稟請スルコトハ屢之  
 レ有リ故ニ任期改選ヲ稟請スルト同一ノ順序ヲ以テ員數ノ裁定ヲ  
 稟請スルモ可ナラン然ラハ則チ選舉員數ノ裁定ヲ稟請スルモ何ソ  
 内務卿ノ煩勞ヲ致スト云ンヤ

○四十四番<sup>三補</sup>安

本官ハ原案維持說ヲ提唱セシニ二十七番ノ駁撃ヲ

○受タリ因テ一言之ヲ辨解セン前會ニ於テ第四百三十八號議案ハ全部ヲ賛成スト陳述セシヲ以テ領會スルヲ望ム抑モ此議案タル前議案ニ於テ既ニ付託委員ノ二回ノ修正ヲ經タルモ本官ハ毫モ賛成ノ意ヲ表セサリシ是レ以テ此議案ニ同意セサルハ知ル可シ到底精神ノ既ニ異ナレハ修正スルモ益ヲ見ス故ニ已ムヲ得ス全部ヲ賛成セシノミ議員ノ員數ニ差異ヲ生スル一事ハ二十七番ノ辨說スル有ルモ其引證以テ確實ト爲スニ足ラス然ルモ復タ抗辨セサルナリ

○議長 二十七番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ二十七番ノ動議ハ消滅ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第三條 區會ハ區長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス町村會ハ戶長之ヲ招

集シ其議案ヲ發ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第四條 區會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ町村會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メ府知事

縣令ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

○三十六番 渡邊清 少シク修正ヲ加ヘン條文中三所ノ「評」ノ字ヲ議ノ

字ニ改ムル是ナリ以下ノ條項モ亦同ク之ヲ改ムルヲ欲ス但シ議會

ト云ヒ議案ト云フ等凡テ議ノ字ヲ用フ現行法ニ評決ト言フヲ以テ

之ニ依ルト云ハハ議案ヲ改メテ評案ト爲ス可キカ是レ甚タ妥穩ナ

ラサルヲ覺フルナリ

○三十番 榎村正直 賛成

○議長 三十六番ノ修正說ハ賛成者アリ問題ト爲ス是レ本條以下ノ

評決ノ文字モ同ク議決ト爲スナリ

○一番 柴原和 評決ヲ議決ト爲スコトハ前修正案ヲ艸スル時ニ於テモ

已ニ此ヲ聞ケリ然レトモ本官ハ其理由ヲ説明スルニ苦ムヲ以テ直

ニ之ニ從フヲ欲セサリシナリ已ニ修正ス可キ理由ナケレハ寧口原  
案ニ仍ルニ如カス

○退席 二十九番 津田 眞道

○九番 細川潤次郎 現問題ニ關シ一言セン評決ト曰ヒ議決ト曰フモ其意

義ニ差異ナケレハ孰レニ從フモ可ナレトモ既ニ修正說ノ出タル以

上ハ撰擇スル無ル可ラス故ニ斷然議決ト改ムルヲ可トス本家中ニ

モ議ノ字ハ屢見ル所ナリ蓋シ評ト議トノ區別ハ少シク辨明スルニ

難キモ要スルニ議ノ字ハ慣用ノ者タルヲ以テ議ノ字ニ改ムルニ如

カスト爲スナリ

○議長 三十六番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者九人

○議長 同意少數ナルヲ以テ三十六番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第五條 區長ニ於テ區會、郡區長、戶長ニ於テ町村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリト認ムルトキハ其會議ヲ中止シ

府知事縣令ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第六條 區町村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリ

ト認ムルトキハ府知事縣令ハ何時タリトモ區町村會ヲ停止シ又

ハ之ヲ解散シテ改選セシムルコトヲ得

○二十七番 笑作麟祥 些細ナル修正ナレトモ試ニ提出セン「府知事縣令

ハ」ノ六字ヲ本條ノ冒頭ニ移シテ府知事縣令ニ於テト爲シ其認ムル

主者ヲ分明ナラシムルヲ可トス然ラサレハ第五條ノ認ムル主者ト

混同スルヲ恐ル又其認ムルトキハ「ト云ヘル」ハ」ノ字ハ妥穩ナラス

故ニ之ヲ削リテ認ムルトキト爲スヲ善シトス

○四十二番 渡邊洪基 賛成

○議長 二十七番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス



○四十四番<sup>三浦安</sup> 本官ハ前キニ一字一句ノ修正ヲ要セスト云ヒシモ

現修正ハ甚タ正當ナルノミナラス前條ト文法ヲ同ウスルヲ以テ悦  
テ之ヲ賛成ス

○議長 二十七番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ二十七番ノ修正説ニ決ス

○書記官<sup>森山茂</sup> 朗讀

第七條 前條ノ場合ニ於テ停止又ハ解散ヲ命シタルトキハ更ニ開  
會ヲ命シ又ハ改選スル迄ノ間區長戸長ハ經費ノ支出徵收方法ヲ  
定メ府知事縣令ノ認可ヲ得テ施行スルコトヲ得

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官<sup>森山茂</sup> 朗讀

第八條 區町村ニ於テ議員ヲ選舉セス又ハ議員招集ニ應セスシテ  
會議ヲ開クヲ得ス及議定スヘキ議案ヲ議定セス又ハ會期內ニ於  
テ議案ヲ評決シ終ラサルトキハ前條ノ例ニ依ル

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

○議長 起立者十八人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官<sup>森山茂</sup> 朗讀

第九條 議員ヲ選舉スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歲以上ノ男子ニシテ

其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府  
縣會規則第十三條第一款第二款第三款ニ觸ル、者及陸海軍々人  
現役ノ者ハ選舉人タルコトヲ得ス

○四十二番 渡邊 洪基 本條ヲ修正セン向キニ二十七番ノ第二條ニ對シ提  
出セル修正說ノ消滅セルヲ以テ本條ヲ修正セサル可ラス即チ「區町  
村ニ住居シ」云云ヲ改メテ其區町村ニ住居シ區町村費ヲ納ムル者ニ  
限ルト爲ス是レナリ此ノ如クスレハ白面書生輩ノ濫入ヲ防制スル  
ヲ得ン凡ソ區町村内ニ住居シテ其費用ヲ納ムル者ナレハ固ヨリ議  
員タル權理ヲ有スト信スルナリ

○二十七番 箕作 麟祥 四十二番ノ修正文ハ本條ノ「其區町村内ニ於テ」ノ  
文字ヲ削除シテ之ヲ換填スルニ在ルカ

○四十二番 渡邊 洪基 區町村ノ文字ノ重複スルヲ以テ削ラント欲セシモ  
若シ之ヲ存セサレハ明白ヲ缺ントス但シ地租ノ二字ヲ區町村費ノ  
四字ト爲サン

○二十七番 箕作 麟祥 四十二番ノ說ノ如ク文字ハ重複スルモ此四字ヲ除  
クトキハ事理明白ナラス故ニ必ス此四字ヲ存セサル可ラス因テ之  
ヲ賛成ス

○議長 四十二番ノ修正說ハ賛成者アリ問題ト爲ス  
○一番 柴原 和 現問題ハ第十條ヲ連ネテ修正スルニ在ルヤ後條ニ涉及  
スル嫌ヒ有レトモ向背ヲ決スルニ惑フヲ以テ前後二條ヲ連帶スル  
者ト看做シテ其意見ヲ述ンコトヲ請フ

○四十二番 渡邊 洪基 本官ハ素ヨリ第十條ヲモ同一ニ修正セント欲ス

○一番柴原和領承ス然ラハ同意ヲ表スル能ハス蓋シ第九條ト第十條トヲ同一ニ修正スルトキハ甚タ支障アルヲ發見セシニ由ル即チ第十條ハ原案ノ如クシテ可ナルモ第九條ハ原案ノ如クセハ選舉人被選舉人共ニ不便ナルヲ以テナリ元來選舉人ハ自ラ議員ト爲ルニ非サルヲ以テ其人員ノ必ス多カラシコトヲ要ス且夫レ府縣會法ノ如キモ五圓十圓ノ地租ヲ以テ明カニ選舉權ト被選舉權トノ區別ヲ立テタルニ本案ニ獨リ其差等ヲ設ケサルハ何ツヤ故ニ本官ハ本條ニ於テ區町村内ニ本籍ヲ定メテ住居スル者ハ皆之ヲシテ選舉權ヲ有セシメント欲ス之ニ反シテ第十條ハ必ス原案ノ如クナルヲ欲ス何トナレハ今日ニ於テハ地租ヲ以テ制限ヲ立ルニ非サレハ實際必ス支障ヲ生シ家屋公債證書等ヲ以テ區域ヲ立ル能ハサレハナリ故ニ

第九條ハ修正ヲ加ヘテ其區域ヲ廣濶ニシ而シテ第十條ハ原案ニ依ルヲ欲スルコトヲ豫陳ス

○議長 四十二番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者四人

○議長 同意少數ナルヲ以テ四十二番ノ修正說ハ消滅ス

○一番柴原和本官ハ豫陳セシ如ク選舉人ノ區域ヲ擴張スル猶ホ府縣

會規則ノコトクセンコトヲ欲ス若シ地租ヲ以テ制限ヲ立ルトキハ其人員ヲ定メテ二十人ヨリ多カラスト爲スモ地租ヲ納ムル者纔ニ十八人ニ止マルトキハ恐クハ選舉人ト被選舉人ト同一ノ人物ニシテ同一ノ員數タル如キ奇異ノ事實ヲ呈セントス是レ即チ自己ノ自己ヲ選舉スルナリ本官ノ選舉人ノ區域ヲ擴張セント欲スルハ此ノ

如キ支障ヲ防カンカ爲メノミ即チ「區町村内ニ於テ」ノ下ニ本籍ヲ定メ住居スル者ニ限ルノ十三字ヲ加ヘント欲スルナリ

○三十二番 大鳥圭介 是レ好修正ナリ其豫陳セシ時ニ於テ已ニ其穩當ナルヲ知レリ選舉權ヲ制限スルニ地租ヲ納ムル多少有無ヲ以テスル

ハ本官ノ初ヨリ是認セサル所ナリシカ現修正ハ此制限ヲ廢シ更ニ本籍ヲ定メテ住居スル者ト爲セリ四十二番ノ修正モ可ナラサルニ非サリシモ現修正ヲ以テ最モ優レリトス故ニ一番ヲ賛成ス

○議長 一番ノ修正說ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○三十六番 渡邊清 本官モ一番ヲ賛成ス前キニ選舉ノ一事ヲ第二條ニ挿入シテ地方官ノ處理ニ委セント欲セシモ原案ノ區域ノ狹隘ナルカ爲メナリ況ヤ漁村ノ如キニ至テハ土地ヲ有スル者甚タ少ク一村

ヲ舉テ數人ニ過キサルヲヤ若シ選舉權ヲ制限スルニ地租ヲ納ムル多少有無ヲ以テセハ數町村聯合ノ選舉ニ係ルヲ以テ甲ノ町村ハ選舉人ノ少數ナル爲メニ乙ノ町村ニ壓制セラルルノ患ヒ有ラントス

○二十七番 箕作麟祥 本官ハ第九條第十條共ニ地租ヲ以テ制限ヲ立ルヲ

非認ス前キニ四十二番ノ提出セル修正說ハ甚タ可ナリト信セシニ不幸ニシテ消滅セリ現修正ノ如キハ原案ニ比スレハ一層ニ完全ナラサルヲ覺フ此修正タル恰モ佛國ノ普通選舉ノ狀態ニシテ赤貧無產者ニ至ルマテ選舉權ヲ有スルニ至ラン施キテ他日國會開設ノ時ニ及ハハ必ス之ニ階シテ一大禍害ヲ致サントス本官ハ素ヨリ選舉者ノ區域ヲ擴張スルニハ異論ヲ立テサレトモ赤貧無產者ニ選舉權ヲ付與スルニ至テハ原案ノ頗ル狹隘ナルニ反シテ甚タ寬縱ナルニ

過ク是レ禍害ヲ生シ易キヲ以テ寧口原案ノ嚴格ニシテ安全ナルニ  
如カサルナリ

○三十三番 神田 孝平 本官モ現修正說ニハ同意セス此ノ如キハ無賴ノ人

民ヲ以テ議會ヲ擾亂セシムルニ至ル無キヲ保セス試ニ之ヲ地方村  
落ニ徵スルニ貧民ハ素ヨリ富民ヨリ衆多ナルヲ以テ恐クハ多數ノ

貧民ハ其黨類ノミヲ選舉セン此等貧民ニハ選舉人タル智識品行ヲ  
具スル者甚タ少ナシ又試ニ之ヲ東京市街ニ徵スレハ防火丁挽車夫

ノ如キ賤業者ノ多數ヲ占ルヲ以テ選舉權ハ必ス此輩ノ擅占スル所  
ト爲ル可シ若シ必ス現修正說ノ如ク本籍ヲ定メ住居スル者ヲシテ

選舉權ヲ握ルヲ得セシメ地租ヲ納ムル有無財産ヲ有スル多寡ヲ問  
ハサレハ横濱埠頭ニ群聚シテ貨物ヲ運搬スル雇夫ノ如キモ亦直ニ

○本籍住居ヲ定メテ以テ選舉權ヲ握ルヲ得ントス蓋シ其弊害ニ堪サ  
ル可シ

○四十二番 渡邊 洪基 現修正說ニハ左袒スル能ハサレトモ其理由ハ二十

七番三十三番ト少シク異ニシテ即チ選舉人被選舉人トノ利害ヲ同  
ウセサルハ尤モ危險ナリト爲スニ由ル選舉權ハ赤貧無産者モ分受

スルヲ得ルモ被選舉人ハ地租ヲ納ムル者ニ限ルト爲スヤ選舉權ノ  
多數ナル赤貧無産者ニ偏傾スルハ勢ノ免レサル所ナリ府縣會法ニ

於テ地租ノ五圓ト十圓トヲ以テ選舉權ト被選舉權トヲ制限セシハ  
彼此利害ヲ同ウスルヲ以テ其選舉ノ公平ニ出テシム可キカ爲メナ

○患ヲ防クヲ欲セシナラン以上ノ理由ナルヲ以テ本問題ヲ否認ス  
リ下付原案ノ地租ヲ以テ制限ヲ立テタルハ恐クハ此偏傾壓制ノ弊

○一番柴原和

反對論者ノ云フ所ハ東京横濱ノ如キ市街ノミヲ見ハ或ハ然ラシ然レトモ全國三萬ノ區町村ヲ通シテ之ヲ觀ルニ區町村會議員ノ選舉人ハ必ス地租ヲ納ムル者ニ限ルト爲スヤ區町村會ハ遂ニ成立セサル可シ故ニ一小局部ニ不便ナルモ全部ニ便ナラハ枉ケテ全部ノ便ナルニ從ハサル可ラス夫レ赤貧無産者ト雖モ其身議員ト爲ルニ非サル以上ハ其年齡住居貫籍等ノ規則ニ適合スルヤ第十條ノ制限ニ遵依シ自己ノ信服スル人ヲ選舉セシムルハ決シテ妨ケサルヲ信ス反對論者ハ本官ノ說ヲ以テ廣泛ニ失スト云フモ四十二番ノ地租ノ制限ヲ除キ第九條第十條ヲモ廢除セント云フ如キハ是レ同ク廣泛ニ失スルニ非スヤ

○十九番上杉茂憲

一番ノ修正說ニ對シ續々トシテ反對論ノ出ルヲ見ル

本官モ二十七番三十三番ト同シク之ニ左袒セス本條ニ於テ選舉權ノ裁定ヲ地方長官ニ委任セサル以上ハカメテ選舉人ノ多數ナルヲ欲スレトモ本籍ヲ定ムルト否ヤトヲ以テ選舉權ヲ與奪スル如キ茫漠ナル說ニ決スルトキハ無賴ノ破落戸ト雖モ選舉權ヲ有スルヲ得テ他日ニ何等ノ弊害ヲ醸生スルヤヲ測ル可ラス發議者ノ言ニ原案ノ如ク區域ノ狹隘ナルトキハ議會ヲ開クヲ得スト云フモ是レ第十二條ノ存スル有リ故ニ本官ハ同意ヲ表セサルナリ

○四十四番三浦安

本官ノ第九條第十條ヲ削除スルヲ不可ナリト豫想セシモ此ノ如キ廣漠ナル修正說ノ出シコトヲ恐レテナリ若シ漫然ニ選舉權ノ區域ヲ擴張セハ議會ハ終ニ無賴者無産者ノ巢窟ト爲リ必ス大弊害ヲ生セントス故ニ初メハ其制限ヲ狹隘ニシ漸次ニ擴張

スルヲ要ス某議官ハ地租ヲ以テ制限ヲ立ルヲ擯斥スレトモ本官ハ却テ之ニ左袒ス蓋シ第三讀會ニ至リ反對說ノ出ツ可キカ故ニ之ヲ防制セン爲メニ豫メ一辨スルコト爾リ

○議長 一番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者三人

○議長 同意少數ナルヲ以テ一番ノ修正說ハ消滅ス

○一番柴原和 本官ノ修正說ハ同意少數ニシテ消滅セシヲ以テ更ニ修正說ヲ提出セン到底原案ヲ以テシテハ實施スル甚タ難シ既ニ其實

施スルニ難キヲ知ル必ス修正セサル可ラス今又提出スル修正文案ハ區町村内ニ本籍ヲ定メ家屋ヲ有スル者ニ限ルト爲スニ在リ此ノ如クスレハ反對論者ノ望慮スル無賴者無産者等ハ決シテ此中ニ入

ルヲ得サル可シ夫レ既ニ其區町村内ニ家屋ヲ有スルトキハ縱令地租ヲ納メサルモ公共費用ノ幾分ハ素ヨリ負擔スルナレハ之ニ選舉權ヲ與フルハ至當ノ事トス若シ此修正文案ノ不妥ナル有ラハ請フ各官ノ潤飾ヲ加ヘンコトヲ

○議長 一番ノ修正說ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

○書記官森山茂 朗讀

第十條 議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歳以上ノ男子ニシテ其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府

縣會規則第十三條第一款第二款第三款第四款ニ觸ル、者ハ議員タルコトヲ得ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

○起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

○書記官 森山茂 朗讀

○第十一條 區會ノ議長ハ區長町村會ノ議長ハ戶長ヲ以テ之ニ充ツ

區長戶長若シ事故アルトキハ區長戶長ニ於テ議員中ヨリ議長ヲ指定スルコトヲ得

○一番 柴原和 本條ヲ修正セン其修正文ハ本官ノ前キニ付託委員ト爲リシ時ニ提出セシ修正文ト同一ニシテ即チ區町村會ノ議長ハ議員

中ヨリ公選シ府知事縣令ニ報告スヘシト爲ス是レナリ然ルニ本條ハ依然戶長ヲ以テ議長ト爲セリ蓋シ議員中ヨリ公選スルトキハ府縣會員ト地方官トノ軋轢ヲ生スルヲ恐ルルニ由ル可キモ凡ソ事ノ利害相伴フハ數ノ免レサル所ニシテ原案ニ從ヘハ軋轢ノ患ハ免ル可キモ却テ戶長ノ私意ヲ恣ニスル患ヲ招カン現ニ今日ニ在テモ議員ト戶長トノ間ニ見解ヲ異ニスル有レハ大抵戶長ノ意思ノ如ク決スルヲ常トス此ノ如キハ區町村會ヲ置テ公議ヲ採取スル本旨ニ背反ス故ニ議長ハ議員中ヨリ選定スルヲ公平ナリトス望ムヲクハ此修正說ニ是決センコトヲ

○退席 四十番 伊集院兼寬

○三十二番 大鳥圭介 一番ノ動議ハ甚タ事理適合セルヲ以テ之ヲ賛成ス



○議長 一番ノ修正説ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○四十二番 渡邊 洪基 本官モ一番ト同感ナレトモ奈何セン今日ニ在テ議

長ハ必ス議員中ヨリ公選スル者ト定ムレハ恐クハ戸長ト人民トノ  
間ニ軋轢ヲ生セン然ルニ本案ノ如ク官選ノ戸長ヲ議長ト爲セハ亦  
恐クハ公選ノ議員ト軋轢ヲ生セン此弊害ヲ防クニハ戸長ノ選任ヲ  
慎シムニ在ルノミ戸長ヲ選任スルニ當リ其區町村内ニ確實ノ資産  
ヲ有スル者ヲ擇フトキハ之ヲ以テ議長ト爲スモ人民ハ強テ抵抗セ  
サル可シ現問題ハ條理上ニハ不可ナル無キモ法律ヲ以テ然ク定ム  
ルハ未タ得策ト爲サス故ニ本官ハ第三讀會ニ於テ第二條ニ選舉ノ  
文字ヲ挿入シ第九條第十條第十一條ハ共ニ削除セントスル意見ヲ  
持ス故ニ議長ノ資格ヲ定ムル一事ハ之ヲ後會ニ讓ランコトヲ望ム

○三十六番 渡邊 清 本官ハ一番ヲ賛成ス向キニ修正案ヲ以テ報告シタ

ル修正モ亦此意ニ外ナラス試ミニ地方ノ民情ヲ觀察セヨ戸長ノ人  
民ニ對スル情態ハ果シテ何如ナル者ナルヤ顧フニ歐米ノ開明國ト  
雖モ戸長ノ人民ヲ壓抑スル弊習アルヲ免レサラン凡ソ戸長ハ大抵  
隱約ノ中ニ壓抑手段ヲ施セルヲ以テ人民ノ戸長ヲ厭忌スルハ一般  
ノ風習ト爲ルニ至レリ元來戸長ハ議案ヲ提出シ公共費用ノ徵收支  
出及ヒ豫算豫決ニ至ルマテ悉皆府知事縣令ノ認可ヲ經テ施行スル  
者ナレハ設令議長ト爲ラサルモ其勢力以テ人民ノ厭忌ヲ來サント  
ス然ルニ今又議會ノ議長タル任ヲ之ニ負ハシメハ其人民トノ間ニ  
於ル軋轢ハ更ニ甚キヲ加フ可シ要スルニ戸長タル者ハ議長議員ニ  
協議シテ諸事ヲ整理スルヲ得策ト爲スニ戸長ヲシテ議長タラシメ

ハ恐クハ每事牽掣シテ行ハレ難キニ至ラン故ニ戸長ハ局外ニ立タシメサル可ラス是レ本官ノ熱心シテ一番ヲ賛成スル所以ナリ

○議長 討議未タ盡キサルモ時已ニ第四時ニ近キヲ以テ本會ハ此ニ止メ明日例刻ヨリ開會セン退散セヨ

午後第三時五十分閉場

○議事 議事ノ進行ハ...

元老院會議筆記 明治十七年四月十九日

禁傍聽

○第四百三十八號議案

地方稅規則第三條第十五項改正ノ儀 第二讀會

日ノ續會

○第四百三十九號議案

區町村費息納者處分方ノ儀 第二讀會

議長 佐野常民

出席議員

- 一番 柴原 和
- 二番 鷺尾 隆聚
- 四番 黑田 清綱
- 五番 東久世通禧
- 八番 伊丹 重賢

九番 細川潤次郎

十四番 井田世讓

十六番 福原實

十七番 大久保一翁

十八番 林友幸

十九番 上杉茂憲

二十番 宮本小一

二十二番 西周

二十六番 西村貞陽

二十七番 箕作麟祥

二十九番 津田眞道

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

○本日の...

三十番 榎村正直

三十二番 大鳥圭介

三十三番 神田孝平

三十四番 河田景與

三十六番 渡邊清

三十八番 長岡護美

四十番 伊集院兼寛

四十一番 橋口兼三

四十二番 渡邊洪基

四十三番 田邊太一

四十四番 三浦安

内閣委員番外参事院議官安場 保和

同番外参事院議官補牧 朴真

同番外参事院員外議官補白根 專一

午前第九時三十五分開場

○議長 本日ハ第四百三十八號議案第二讀會昨日ノ續會ヲ開ク昨日  
闕席セシ議官ニ告ク第十一條ノ修正說正サニ問題ニ在リ

○番外三番白根 本員ハ昨日ノ修正說ニ對シ本案ノ旨趣ノ在ル所ヲ辨  
明セン從來町村會ノ議長ハ議員中ヨリ公選セルモ本案ニ於テ特ニ  
戸長ヲ議長ト爲ス新制ヲ定メタルハ素ヨリ其理由ノ存スル有リ即  
チ町村ハ府縣郡區ト異ニシテ戸長ノ職掌タル一方ニハ府知事縣令  
郡區長ノ命令ヲ奉シテ政府ノ代理者ト爲リ一方ニハ町村人民ノ代

理者ト爲リ一身ヲ以テ官民兩途ノ間ニ周旋ス恰モ門扉ノ樞鈕ト相  
似タリ故ニ甲乙町村ノ戸長ハ互ニ訴訟ヲ起スコト有ルモ甲乙府縣  
ノ職官ハ然ラス聞ク昔時村長坊正ハ其町村ノ會同ニ於テ現今ノ議  
長ノ職掌ヲ行ヘリト顧フニ大家ニ於テハ主人ト執事ト職掌ヲ分守  
スレトモ小家ニ於テハ主人ニシテ執事ノ職掌ヲ兼ネサル可ラス町  
村會ハ府縣郡區タル大家ニ比スレハ小家ナリ然レハ則チ戸長ニシ  
テ議長ノ職掌ヲ兼ヌルハ實際ニ便宜ナルニ非スヤ本院ノ衆議ニ於  
テモ舊慣ヲ破壊スルヲ不可ト爲セリ本案ノ戸長ヲ以テ議長ト爲ス  
ハ即チ舊慣ヲ存スルナリ某議官ハ本案ヲ視テ戸長ト人民トノ間ニ  
軋轢ヲ生セシムル者ナリト云フモ戸長ノ性質ハ官選ト民選トニ拘  
ラス其職務ノ概則ヲ改定セサル以上ハ決シテ此罪慮ヲ要セス之ニ

反シテ議長ヲ議員中ヨリ公選スルトキハ却テ戸長ト軋轢ヲ生スルハ往往今日ニ免レサル所ナリ蓋シ實際ニ徴シ來レハ其孰レニ從フモ少小ノ弊害ヲ生セサル能ハス且夫レ戸長ヲ以テ議長ト爲スハ深ク將來ニ慮ル所アリ縱令ヒ數年後ニ制度ノ變遷スルヲ保セサルモ今日ヨリ便宜法ヲ設クルハ策ノ得タル者トス本條ハ前會以來各官ノ注目スル所ト爲リ修正說ヲ豫陳セルヲ以テ本員乃チ內閣ニ復命シ內閣更ニ審議ヲ盡セシモ到底本條ハ改更スルヲ得サルニ歸著セリ議員選舉ノ一事モ若シ確ニ制限ヲ立テサレハ議會ノ權ハ久クシテ無賴賤民ノ掌中ニ落ントス望ムラクハ本條ヲ原案ニ可決センコトヲ要スルニ此第十一條ヲ設ケシハ慣例ニ仍ルニ非ス軋轢ノ弊害ヲ防クニ非ス專ラ將來ノ得失ヲ慮リテ弊害ヲ未萌ニ禦カントスル

ニ在ルナリ一番ノ修正說ハ其理ナキニ非スト雖モ原案モ亦素ヨリ其理ナキニ非ス若シ更ニ熟考セハ其孰レカ是ニシテ孰レカ非ナルハ自ラ分明ナル可シ若シ議長ヲ公選ト爲ストキハ議場ハ少年書生ノ論場ト爲ランコトヲ恐ル是レ各官ノ同認スル所ナラン一番ノ議政ト理事トヲ區別セルハ一理ナキニ非サレトモ町村會ヲ府縣會ニ比較スルハ恐クハ肯綮ヲ失セン顧フニ一番ノ動議ハ目前ニ小利ヲ見ル可キモ永遠ノ大利ニ至テハ遙カニ原案ニ及ハス苟モ法律ヲ設ルニハ必ス永遠ノ目的ヲ立ルヲ要ス故ニ本員ハカメテ原案ヲ維持セサル可ラサルナリ

出席 野村素介

○一番柴原和番外三番ハ第十一條ノ修正ニ對シ縷縷辨論セルモ約言

○スレハ唯是レ軋轢ヲ生スルヲ恐ルニ過キス本官モ素ヨリ軋轢ヲ憂フルヲ以テ戸長ヲ議長ト爲スト議員中ヨリ議長ヲ選フトノ利害ヲ比較シ議員中ヨリ之ヲ選フノ弊害少ナキヲ認ムルヲ以テ此ノ如ク修正セントス元來議案ハ戸長ヨリ提出シ而シテ其議決モ亦唯戸長之ヲ爲ス且ヤ今日ニ在テ數十町村ヲ聯合スルモ敢テ法律ノ禁スル所ニ非ス戸長モ必シモ公選ニ出ルニ非ス只嘗テ内務卿ノ務メテ公選ト爲ス可キヲ告達シタルノミ然リ而シテ内閣ノ意旨ハ其實官選ヲ欲スルヤ知ル可シ然ラハ則チ今日戸長ハ町村事務ヲ專行スル者ト謂フモ謬誤ニ非サル可シ此ノ如ク戸長ハ議案ヲ提出シ且之ヲ決定スル權力ヲ把握スルヲ以テ道路ノ修繕ナリ教育ノ擴張ナリ其他百事自己ノ意思ニ任セテ斷行シ爲メニ町村人民ノ困苦ヲ致ス無キ

ヲ保セス番外三番ハ戸長ヲ以テ議長ト爲スヲ永遠ノ利益ナリト云フモ本官ハ謂ラク是レ戸長ヲシテ益、專肆ニ陷ラシムル者ニシテ決シテ永遠ノ法制ト爲ス可キニ非スト若シ戸長ノ專肆人民ノ軋轢ヲ防制セントセハ修正説ノ如クセサル可ラス顧フニ從來府縣會ニ於テ議長ト知事令トノ間ニ見解ヲ異ニシ往往參事院ノ裁定ヲ仰ク有ルニ非スヤ町村會ニ至テハ此弊更ニ甚シカラントス故ニ本官ハ戸長ヲ議長ト爲シテ軋轢ノ弊ヲ生セシムルヨリ寧ロ戸長ノ專肆ヲ防制スルヲ永遠ノ利益ナリト信スルナリ

○十四番 井田

本官ハ修正説ヲ賛成ス已ニ一番モ辨セシ如ク戸長ハ

第三條第四條ノ事務ヲ處理スル資格ヲ有シ官民ノ中間ニ立テ上下ヲ調和スル者タリ然ルニ戸長ヲシテ議長タラシメハ嘗ニ議員ト軋

轢ヲ生スルニ止マラス尙且ツ人民ト軋轢ヲ生スルニ至ラン何トナ  
 レハ其中間ニ立テ調和スル機關ノ存セサレハナリ故ニ議長ヲ公選  
 ノ者ト爲シテ人民ト戸長トノ中間ニ立シメ以テ議長ト戸長トノ軋  
 轢ヲ生スルニ止ムルヲ得策ト爲ス番外三番ハ昔時ノ村長坊正ヲ引  
 證トシテ今日ノ戸長ヲ較論セルモ村長坊正ハ決シテ第三條第四條  
 ノ如キ權力ヲ有スル者ニ非ス其引證ハ當ラスト謂フ可シ番外三番  
 ハ現修正ヲ視テ嚴格ニ過クト云フハ解ス可ラス若シ言フ所ノ如ク  
 ナレハ初ヨリ此法制ヲ設ケサルニ如カス苟モ本案ヲ設ル以上ハ必  
 ス嚴格ナラサル可ラス又番外三番ハ永遠ノ利益ト目前ノ利益トヲ  
 比較シ法律ハ永遠ノ利益ヲ目的ト爲ス可シト云フモ本官ハ目前ノ  
 弊害ヲ救フヲ以テ法律ノ効用ト爲ス番外三番ノ言ノ如クセハ目前

ニ人民戸長ノ間ニ大軋轢ヲ生ス可ク而シテ之ヲ救ハント欲セハ必  
 ス修正ノ如クスルヲ要スニ本官ハ第一ノ點ヲ論ズルニ至リテ

○二十七番築作  
麟祥

番外三番ノ云フ如ク原案修正説俱ニ其理アリト雖  
 モ本官ハ孰レニモ同意セス何トナレハ戸長ヲ選舉スル方法ニ官選  
 ト公選トノ二者アリテ未タ一定ニ歸セサレハナリ其公選ト爲ス可  
 シトハ主務省ノ内達ニ過キサレハ以テ法制ト爲スニ足ラス是レ重  
 大ノ事件ナレトモ種種ノ情實ニ拘セラレ今日ニ至ルマテ法律ヲ以  
 テ確定スルヲ得スシテ各地方之ヲ異ニセリ町村會ノ如キモ内閣ノ  
 旨意ハ各地方ノ便宜ニ委スルニ在リ夫レ戸長ヲ選舉スル方法スラ  
 未タ一定ニ歸セサル今日ニ於テ議長ハ戸長ニ屬ス可シト云ヒ或ハ  
 議員ヨリ取ル可シト云フハ寧ロ大早計ト謂ハサルヲ得ス願フニ歐

洲各國ニ於テモ英國ハ公選佛國ハ官選ナリ其邑長ハ常ニ議長ト爲ルヲ得レトモ獨リ邑費豫算案ヲ議スルニハ己レ自ラ其議長ト爲リテ之サルヲ例トス其故何ソヤ自ラ議案ヲ提出シ又自ラ議長ト爲リテ之ヲ議決スルハ專肆ニ涉ル嫌ヒ無キヲ得サレハナリ佛國ノ如キ邑長ヲ官選ト爲スモ嚴ニ此制限ヲ遵守セシム今ヤ我國ニ於テハ議員ノ選舉任期改選等ノ各事モ未タ一定ニ歸セサルナレハ戸長ヲ議長ト爲シ或ハ議員ヲ議長ト爲スコトハ決シテ今日ニ確定スルヲ得ス然ルニ原案修正說共ニ一方ニ偏倚ス且ヤ今日諸事皆試験中ニ在リテ未タ一定ニ歸スル能ハサルニ獨リ此問題ノ一事ノミヲ一定ニ出シメントスルハ不可ナリ故ニ本官ハ第十一條ヲ削除セントス而シテ第二條ノ各事ハ地方官ノ裁定ニ委スルナレハ議長ノ選舉モ亦地方

官ニ委シ地方ノ便宜ニ從セテ處理セシムルヲ可トス因テ此ニ意見ヲ豫陳ス

○九番

細川潤次郎

本官ハ初メ問題發議者ト一般ナル感想ヲ懷キシモ更ニ熟考ヲ經テ原案ヲ是認セリ昨日四十四番ノ說ヲ聽キ只今二十七番ノ說ヲ聽クモ目今ニ在テ一方ニ偏倚スルハ甚タ不可ナリ是レ我邦ノ町村會ハ猶ホ幼稚ノ景況ニ在リテ未タ議長ノ資格ヲ確定スル地位ニ達セサレハナリ均ク是レ幼稚ノ者ト爲セハ寧ロ原案ノ如クスルヲ可トス修正說ニ從ヘハ必ス議員ヨリ取ル一方ニ偏倚シ適當ノ人物ヲ得スシテ議場ノ整頓ニ妨ケアランコトヲ恐ル本條ハ文字ノ如ク解釋スルヤ其結果ハ議長ヲ區戸長ニ取ルモ議員ニ取ルモ便宜ニ從フヲ得ヘシ夫レ既ニ區町村會ヲ設クレハ必ス議長ヲ設ケサ



ル可ラス而シテ其議長トハ何如ナル人物ナルヤト問フニ外國ニ於テモ邑長即チ戸長ヲ充用スルト議員ヨリ選取スルトノ二法アリ現今我邦ノ區町村會ヲ設クルヤ日猶ホ淺キヲ以テ之ヲ原案ノ如クスルヲ適當ナリトス然ルニ其議案ハ區戸長之ヲ提出シ而シテ自ラ議長ト爲レハ所謂自畫自讚タルヲ以テ人民ノ戸長ヲ專肆ナリトスル感觸ヲ生ス可シト望慮スル有ンモ此際ニ當テハ區戸長ハ宜ク議員中ヨリ議長ヲ指選シ自己ハ其嫌疑ヲ避ルナルヘシ然レハ則チ其情勢ニ於テ自ラ議員中ヨリ指選スルノ多キニ居ルニ至ラン思フニ議員中ヨリ議長ヲ取ルモ軋轢ノ一事ハ到底免カルヲ得サル可ク設令公選ノ議長ナルモ議員ノ議案ヲ專肆ニ成ル者ト認メハ一再否決シ轉シテ區戸長ヲ議長ト爲スニ至ル無シトセス且夫レ町村會ハ府縣

會ト異ニシテ其議員ハ概ネ平常相識ノ人人ナルヲ以テ戸長モ亦必ス自ラ挹損シテ務メテ軋轢ヲ避ケントスルハ自然ノ情勢ニシテ人民モ亦敢テ過激ノ論ヲ吐カス容易ニ議案ヲ可決スルナラン之ヲ要スルニ官選ト公選トヲ問ハス適當ノ人物ヲ得ル以上ハ決シテ障礙ヲ見サル可シ原案ハ修正說ノ如ク一方ニ偏倚セス時ニ臨テ取捨スルヲ得ルノ方法ニシテ最モ幼稚ナル區町村會ニ適當ス是レ本官ノ原案ニ左袒スル所以ナリ

○三十六番渡邊 從來區町村會ノ提轄方法ハ缺漏アルヲ免レス故ニ本案ヲ設ケテ以テ其破綻ヲ彌縫セントス提轄方法既ニ立テハ戸長ヲ議長ニ充ルモ之ヲ議員ニ取ルモ其便宜ニ任セテ可ナリ顧フニ議長ハ議員ノ言論ヲ默聽スル者ナルヲ以テ議員ニ取ルモ戸長ヲ充ル

モ支障ヲ見ス目今慣行スル所ハ大概公選ニシテ之ヲ其議員ニ取ル  
 然ルニ本案ノ如ク此慣行ヲ變シテ戸長ヲ議長ニ充ル定制ヲ立レハ  
 恐クハ議會ト人民トノ惡感觸ヲ惹起サン故ニ目下先其提轄方法ヲ  
 設ルニ止メ第十一條ノ如キハ暫ク之ヲ他日ニ讓ルヲ現今ノ町村會  
 ノ情勢ニ適合スト信スルナリ

○一番柴原和 本官ハ強テ抗辨スルヲ要セサレトモ原案ニ從フトキハ  
 甚タ弊害ヲ生セン殊ニ區戸長ヲシテ議員中ヨリ議長ヲ指選セシム  
 ルニ至テハ尤モ以テ然リトス區戸長ヲシテ議長ヲ指選セシムルヤ  
 恐クハ自己ノ意旨ニ從フ者ヲ指選セン寧ロ二十七番ノ說ノ如クス  
 ルヲ可トス番外三番ハ現修正ヲ視テ禮服ヲ著スル如キ嚴格ノ修正  
 ナリト云フモ第四條第八條ノ如キハ皆嚴格ナリ譬ヘハ第四條第八

條ハ禮服ノ上衣ヲ著セリ故ニ本條ニ於テ其下裳ヲ著セシメ以テ肅  
 整ニ歸セサル可ラス上衣ヲ著シテ下裳ヲ著セサレハ人皆其發狂者  
 タルヲ笑ハン故ニ本官ハカメテ現問題ヲ維持スルモ不幸ニ消滅セ  
 ハ二十七番ノ削除說ヲ賛成セントス

○三十番榎村正直 本官ハ現問題ニ左袒ス原案ノ如クセハ人民ノ惡感觸  
 ヲ惹起サン今ヤ政府ハ戸長ヲ官選ト爲サントスル傾向アルニ戸長  
 ニシテ町村會ノ議長ト爲リ自畫自讚ノ觀アラシムルトキハ人民必  
 ス其專肆ニ涉ルヲ疑ハン且夫レ戸長ヲ以テ議長ト爲スモ必シモ議  
 會ヲ整頓スル能ハサル可シ思フニ從前ハ戸長ノ專肆ニ陷ルヲ恐レ  
 戸長役場ノ決算簿ヲ調査セシ等ノ事アリシモ町村會ヲ設立セシ以  
 來ハ此事ナキニ至レリ然ルニ本案ノ如ク戸長ヲ以テ議長ト爲シ立

案議決否認等ニ至ルマテ舉テ之ヲ戸長ニ委セハ徒ニ人民ノ疑念ヲ増スノミニシテ少補ヲ見ル無ラン故ニ本官ハ一意ニ一番ノ動議ニ決センコトヲ望ム然レトモ若シ不幸ニシテ一番ノ動議消滅セハ已ムヲ得ス二十七番ノ豫陳說ヲ賛成セントス要スルニ人民ノ惡感觸ヲ避ルヲ期スルニ在ルナリ

○十四番 井田 讓 本官ハ二十七番ノ豫陳セル修正說ニハ聊カ望慮スル所アリ或ハ恐ル二十七番ノ說ヲ賛成スル爲メニ一番ノ說ヲ烏有ニ歸セシメンコトヲ二十七番ノ說ノ如クナレハ縣令ハ隨意ニ戸長ヲ議長ト爲スヲ得シ故ニ一番ノ動議ニシテ成立セサレハ已ムヲ得ス二十七番ノ提出スル動議ヲ賛成ス可キモ本官ノ意想ハ殊ニ一番ノ修正ニ傾向スルナリ

○四十二番 渡邊 洪基 本官ハ昨日第十一條ヲ看テ以テ從來ノ慣例ヲ打破スル制規ト爲シ目今ノ情勢ニ適セサルヲ論セリ然レトモ公選ノ文字ヲ法律上ニ揭示スルハ亦甚タ時宜ニ適セス乃チ府知事縣令ニ委任シ便宜ニ處置セシムルヲ得タリトス故ニ二十七番ノ修正說ヲ提出セハ輒チ之ヲ賛成セントス

○議長 一番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者七人

○議長 少數ナルヲ以テ一番ノ修正說ハ消滅ス

○二十七番 箕作 麟祥 本官ハ豫陳セシ如ク第十一條ヲ削除セン某議官ノ云フ如ク議長選定ノ事モ確定スルヲ得ハ務メテ法律上ニ確定スルヲ善シトスレトモ然ルトキハ會期員數ノ事モ府知事縣令ノ裁定ニ

委セス之ヲ法律上ニ確定スルヲ要ス議長ハ固ヨリ重要ノ職ニ係ル  
 モ敢テ大權力ヲ有スル者ニ非ス三十六番ノ述タル如ク唯虚心平氣  
 ヲ以テ議事ヲ判決スルニ止マルノミ會期員數ノ事ノ如ク重大ノ關  
 係ヲ有セス原案ノ區戶長ヲ以テ議長ト爲スハ各位ノ聖慮スル如ク  
 啻ニ區町村ノ慣例ヲ打破スルノミナラス政府ノ民心ヲ失フ禍因モ  
 亦將サニ此ニ起ラントス要スルニ戶長選舉ノ方法ニ官選ト公選ト  
 ノ差異アリテ未タ一定ニ歸スル能ハサル今日ニ於テ必ス戶長ヲ議  
 長ト爲ス可キ制規ヲ定ムルハ大早計ニ失セン顧フニ目今戶長ヲ議  
 長ト爲セル町村會ハ一モ之レ然キニ非サレトモ到底一般ノ情勢ニ  
 照セハ本條ヲ削除シテ第二條ノ「其他ノ規則云云」ノ中ニ包含セシ  
 メ地方長官ノ便宜裁定スルニ委カスヲ得タリトス蓋シ第二條ハ其

文理少シク泛漠ナルニ似タルヲ以テ此修正說成立セハ第三讀會ニ  
 至リ其條中ニ議長等ノ文字ヲ補插シ一見瞭然タラシメントスルナ

○一番柴原和

本官ハ前キニ提出セシ修正說ノ消滅ニ歸セシヲ反テ僥  
 倖ナリシト覺フ今ニシテ之ヲ考フレハ議長ハ議員戶長二者ノ孰レ  
 ニ取ルモ到底利害相伴フヲ免レサルヲ信ス故ニ改メテ二十七番ヲ  
 賛成ス顧フニ前議案ニ關シテハ原案修正案共ニ消滅スル如キ不幸  
 ヲ來セリ本會ニ於テモ若シ二十七番ノ修正說消滅シ原案ヲ把テ可  
 否ヲ問フ有ラハ或ハ恐ル復タヒ消滅ニ歸センコトヲ故ニ本官ハ切  
 ニ二十七番ノ允當明瞭ナル修正說ノ成立スルヲ望ム

○四十二番渡邊洪基

賛成ス實際ニ於テ戶長選舉法其宜キヲ得ハ原案ニ

○シテ可ナレトモ政府ハ公選ノ慣行ヲ弊害アリト爲シテ改良セント  
 スル乎番外三番ハ舊幕府時代ノ事例ヲ引證セシモ今日ハ世態自ラ  
 昔時ニ異ナリ敢テ比擬ス可キニ非ス本官ノ意想ハ若シ支障スル無  
 クハ寧ロ官選ニ一定スルヲ欲スレトモ急遽ニ從來ノ慣例ヲ打破ス  
 ルヲ好マス後來戸長選舉法ノ宜キヲ得ルニ至レハ原案ノ如クスル  
 ヲ可トスルモ今日ハ尙ホ早シ故ニ本條ヲ削除シテ地方長官ニ委任  
 スルヲ得策ト爲スナリ

○議長 二十七番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○三十番 榎村正直 本官ハ一番ノ修正說ヲ是認セシモ不幸ニ消滅セリ故

ニ已ムヲ得ス更ニ二十七番ノ削除說ヲ賛成シ以テ人民ノ惡感觸ヲ  
 避ケント欲ス然レトモ第二條ニ字句ヲ補足セント云フニハ同意セ

ス原案ノ如ク「其他ノ規則」ト爲スヲ可トス

○十四番 井田讓 本官モ三十番ト同一ノ感觸ヲ以テ賛成ス

○三十二番 大鳥圭介 賛成ス本官ハ初メ利害ノ大小ヲ比較シ一番ノ修正

說ノ如ク議長ヲ公選ト爲スヲ以テ害少ク利多シト看テ同意ヲ表セ

シモ不幸ニ消滅ニ歸シタルヲ以テ更ニ二十七番ノ修正說ニ左袒セ

サルヲ得ス願フニ公選ト爲セハ行政上ニハ聊カ支障ヲ見ル可シト

雖モ是レ深ク顧慮スルニ足ラス從來公選ヲ一般ノ慣例ト爲シ戸長

ヲ以テ議長ト爲スハ希有ノ事トス故ニ本官ハ此慣例ヲ打破スルヲ

不可ナリト信ス宜ク二十七番ノ說ノ如ク寧ロ本條ヲ全削シテ各區

町村ノ便宜ニ委スヘキナリ

○三十六番 渡邊清 本官モ二十七番ノ動議ヲ賛成ス

○外三番白根 二十七番ノ論旨ハ官選ナリ公選ナリ各區町村ノ便宜ニ從ハント云フモ甲縣ノ町村會ハ議員ヲ議長ト爲シ乙縣ノ町村會ハ戶長ヲ議長ト爲ス如キハ實際ニ行ハル可ラス蓋シ甲縣ニ於テ議長ヲ公選スルトキハ乙縣ハ必ス戶長ヲ議長ト爲スヲ嫌ヒ而シテ地方長官ハ戶長ヲ以テ議長ト爲サントスルモ其情勢自ラ能ハスシテ甚タ困難ニ陷ルコト有ラン故ニ調和兩存ノ方法ハ決シテ望ムヲ得スシテ必ス一ニ定メサル可ラス到底一番ノ動議ト下付ノ原案トノ二者其一ヲ擇フヲ要ス現今戶長ヲ議長ト爲セル町村會アルハ本員等ノ未タ聞サル所ナリ然ラハ則チ調和兩存ノ方法ヲ設ルモ事ニ於テ小補ヲ見ル無ラン夫レ已ニ本案ニ於テ議員ノ資格ヲ定ムル以上ハ議長ヲ置クモ必ス一定ノ制規ニ從フヲ要ス二十七番ノ地方ノ情

勢ヲ酌量スルハ一理アレトモ恐クハ功效ヲ見ル無クシテ却テ弊害ヲ致ス有ラン故ニ內閣ニ於テモ再三討議ヲ盡シ遂ニ戶長ヲ議長ト爲スノ利便ナルヲ認メ此ノ如ク一刀兩斷ノ處置ニ出テタリ二十七番ノ論旨ハ甚タ深切ナルモ却テ一番ノ論旨ニ劣レルニ似タリ故ニ各官ノ參考ニ供スル爲メニ一言ス

○二十七番案作麟祥 番外三番ハ一番ノ動議ト下付ノ原案トノ二者其一ヲ擇ハサル可ラス甲乙二縣ニ於テ法制ヲ異ニスルヤ地方長官ハ其處置ニ困難セント云フモ本官ノ所見ヲ以テスレハ其彼此相異ナルハ却テ地方ノ便宜ト爲ラントス某縣ニ於テ議長ヲ官選ト爲シ多少ノ紛議ヲ生スル有シニ縣令ノ意見ヲ以テ斷然官選ト爲スモ固ヨリ法律ノ許ス所ナリ且夫レ道路修繕ナリ學校建築ナリ織場設立ナリ

地方長官ノカヲ此ニ用フル有レハ管下人民ノ其費用ノ何如ニ關シテ多少ノ紛議ヲ起スハ往往免レサル所トス是ヲ以テ地方長官タル者ハ其地方ノ情況ニ隨ヒ適應ノ處置ヲ施ササル可ラス然ルヲ全國畫一ノ制規ニ出テシメハ其狀態ハ果シテ何如ソヤ習慣ハ重要ニシテ漫ニ打壞ス可キニ非サルニ番外ハ其情勢ノ何如ヲ量ラス一刀兩斷ノ方法ヲ立テ全國ヲ舉テ戸長ヲ議長ト爲ス可シト云フハ解スル能ハス要スルニ管下人民ノ紛議ヲ畏ル如キ地方官ニテハ地方ノ政務ヲ擔任スル能ハサル可シ故ニ地方ノ便宜ニ委スルモ何ノ不可カ之レ有ン

○一番柴原和

番外三番ハ甲乙二縣處置ヲ異ニセハ實際ニ障礙スル有リト云フモ地方長官何ソ此等ノ事ヲ苦慮セン前キニ埼玉縣令ハ斷

然其縣下ノ娼妓ヲ禁廢セシモ爲メニ令名ヲ失ハス蓋シ埼玉縣ノ之ヲ禁廢セシハ其風俗ヲ壞ルヲ慮ルニ由ル又タ他府縣ノ之ヲ認許スルハ縱令風俗ニ害スルモ之ヲ禁廢スルトキハ或ハ密賣淫ノ弊風及ヒ良家婦女ノ醜行ヲ來スヲ恐ルニ由ル地方長官タル者ハ此ノ如ク土地ノ便宜ニ隨テ施政ノ方圖ヲ異ニセサル能ハス顧フニ町村會議長ノ措置ノ如キ亦其便宜ニ隨フヲ要ス其隣縣ト處置ヲ異ニスル爲メニ人民ノ紛議ヲ致スヲ畏懼スル如キ地方長官ハ固ヨリ地方ノ施政ヲ擔當スルニ足ル人物ニ非サラン二十七番ノ動議ノ如クセハ事ニ於テ甚タ便ナリ因テ番外三番ニ告ク然ク望慮スルヲ須ヒサレト

○番三番白根外 本員ノ町村會議長ノ選定ニ關シ甲乙二縣ノ措置ヲ異ニスルヲ不可ナリトスルハ其以テ學校道路等ノ措置ト同視ス可キ

ニ非サルニ由ル抑モ本條ノ議長選定ノ一事ハ素ヨリ法律ヲ以テ規定ス可キ者ニシテ必ス畫一主義ニ歸セシメサル可ラス一番ハ娼妓ノ禁廢認許ヲ引キテ辨證セルモ是レ甚タ不倫ノ譬喩ナリ二十七番ノ動議ノ如キモ模稜ノ考案タリト謂フ可シ一番ノ云フ如ク地方官各其意見ヲ以テ便宜ノ處置ヲ爲シ人民ノ動靜ニ因テ其心ヲ動カス如キハ萬モ之レ無ル可キモ其斷行スルト斷行セサルトノ差異ハ決シテ之レ無キヲ保タス一番ハ一己ノ意見ヲ以テ地方長官ノ皆必ス斷行ノ處置ニ出ツ可キヲ云フモ本員ハ然リト云フヲ得ス故ニ縱令人民ノ些少ノ苦情ヲ鳴ス有ンモ後來ノ利益ヲ考フレハ必ス原案ノ如クセサル可ラス本員ハ此事ニハ從來實地ニ經驗セル有ルヲ以テ原案ノ適應ナルヲ信ス二十七番ノ說ノ如キハ左視右顧一モ其可ナ

ルヲ見ス且夫レ地方長官ノ其意見ヲ斷行ス可シト臆測スルハ是レ備ハルヲ人ニ責ル者ニシテ恐クハ悉ク其臆測ノ如クナラサラン願クハ原案ノ如ク決定センコトヲ

○三十六番 渡邊清

番外三番ハ議長ノ選舉ヲ一定セサレハ將來ノ不利

ナリト云ヒ二十七番ハ之ヲ一定セサルヲ以テ區町村ノ便宜ナリト云ヒ其論旨ハ冰炭ノ相容レサルカ如シ然ルニ本官ハ其孰レニ從フニ拘ラス舊慣ヲ存持スルヲ以テ主旨ト爲ス願フニ議長ヲ公選スルハ已ニ三四年來施行セル慣例ニシテ其間毫モ窒礙ヲ見ス畫一檢束モ便宜任放モ共ニ弊害ナシト謂フ可ラス宜ク從來ノ慣例ニ從フヘキノミ然リ而シテ從來ノ慣例ニ於テハ戶長ヲ以テ議長ト爲スヤ甚タ稀ナリ故ニ本官ハ一番ヲ賛成セルト同一ノ感想ヲ以テ二十七番



ヲ賛成ス

○議長 二十七番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ二十七番ノ本條削除説ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第十一條 府知事縣令其管轄内ニ於テ町村會ヲ開設シ得ヘカラサル狀況アルヲ認ムルトキハ内務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

○議長 發議ナクハ決ヲ取ラン本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者二十六人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第十三條 二 府知事縣令ハ數區町村ニ關涉スル事件アルトキ其區域ヲ定メテ聯合區町村會ヲ開設スルコトヲ得

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者二十七人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第十四條 三 府知事縣令ハ水利土功ニ關スル事項ニシテ區町村會若クハ聯合區町村會ニ於テ評決スルヲ得サルモノアルトキ特ニ其區域ヲ定メテ水利土功會ヲ開設スルコトヲ得

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

第十五條 聯合區町村會及水利土功會ハ總テ本法ニ準據ス其區域  
區長戶長數人ノ所轄ニ涉ルモノハ府知事縣令便宜郡區長ヲシテ  
之ヲ管理セシム但戶長ヲシテ其評決ヲ施行セシムルコトアルハ  
シ

右奉 勅旨布告候事

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス此ニ第四百三十八號議案第  
二讀會ヲ畢ル引續キ第四百三十九號議案第二讀會ヲ開ク

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

區町村會ニ於テ評決シタル區町村費ノ怠納者ハ總テ明治十年<sup>十一月</sup>  
第七拾九號布告ニ據リ處分ス可シ但財産公賣ノ際買受望人ナキト  
キハ官没ノ手續ヲ爲サス郡區長又ハ戶長ニ於テ之ヲ管掌シ區町村  
會ノ評決ヲ取り府知事縣令ノ認可ヲ得テ處分ス可シ

右奉 勅旨布告候事

○四十二番 渡邊 洪基 布告案ニ修正ヲ加ヘン本案ハ明治十四年第二十四  
號布告ノ但書ト矛盾ス即チ同一費目ノ徵收ニシテ一ハ水利土功會  
ノ議決ヲ以テ處分シ一ハ地方長官ノ干涉ヲ要スル差異アレハナリ  
故ニ第二十四號布告ヲ修正ス可キモ本案ヲ修正スルヲ却テ便益ナ

リトス顧フニ町村會員ノ或ハ私意ヲ挾ミテ町村人民ノ財産ヲ處分  
 スル如キ非理ノ所爲ナキヲ保セス故ニ公賣ノ處分ハ必ス地方長官  
 ノ之ニ干涉スルヲ要ス因テ「區町村會」ノ下ニ法ノ一字ヲ添ヘ但書  
 ヲ附シ明治十四年第二十四號布告ハ廢止スト爲サント欲ス水利土  
 功會モ區町村會法ニ準依スル者ニシテ土木費及ヒ區町村費ハ共ニ  
 同一性質ニ係レハ區町村會ノ決議セシ費用ノ息納者ハ皆其處分ヲ  
 同ウセサル可ラス從前ハ土木費ノ息納者ノミ公賣處分ニ付セシモ  
 今後ハ區町村費ノ息納者モ亦皆公賣處分ニ付スルヲ以テ「區町村會」  
 ノ下ニ法ノ字ヲ加ヘ會法ト爲スヲ可トス且此ノ如クスルトキハ第  
 二十四號布告ノ廢止ニ付スルコトヲ言ハスシテ可ナルニ似タルモ  
 從前ノ慣行ヲ改ムルヲ以テ但書ニ明示スルヲ要ス

○二十七番 案作 麟祥

賛成ス本官ハ第一讀會ニ發言セシ如ク彼此矛盾ス  
 ルヲ以テ修正ヲ加ヘント欲セシニ幸ニ四十二番ノ發議ヲ得タリ其  
 修正ノ如ク但書ヲ附シテ前布告ヲ廢止スルコトヲ明示スレハ土木  
 費息納事件モ區町村會法中ニ包含スル者ト爲ルナリ但タ聊カ發議  
 者ニ質問セン區町村會法ト云フトキハ水利土功會モ其中ニ包含ス  
 レトモ本案ノ末尾ニ「區町村會」ノ評決ト言ヘルトキハ水利土功會ハ  
 其中ニ包含セサルヤノ疑ヒ有リ是レ恐クハ會議ノ評決ト爲スノ意  
 ニ非サルカ

○四十二番 渡邊 洪基

然リ會議ノ評決ト爲スノ意ナリ心目ヲ要點ニ傾注  
 シタルヲ以テ失誤セシナリ

○議長 四十二番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○一番柴原和

本官ハ現問題ニハ其半ヲ是認シ其半ヲ非認ス本官ノ思  
考スル所ヲ以テスレハ本條ノ「議會ノ評決ヲ取リ」ト言ヘル以下ノ  
文字ハ現行法ニ之レ無シ或ハ誤文ニ非ルヤヲ疑フ何トナレハ財産  
ヲ公賣スルニハ直チニ販賣シテ憐惜スルコト無キニ唯獨リ買受望  
人ナキ場合ニ於テノミ「府知事縣令ノ認可ヲ得」云ト叮嚀ナル處  
理方ヲ示スハ無用ノ複語ト謂ハサルヲ得ス故靴徹箱ノ如キハ買受  
望人ナケレハ燒棄スルモ可ナリ其他ハ決シテ買受望人ナキハ有ラ  
シ唯或ハ田畑ニ至テハ買受望人ナキ場合モ之レ有ラン然ルモ是レ  
地租改正前ノ田野荒蕪セシ時ニ在リ其改正後ハ人民專ラ耕耘ニ勉  
勉セルヲ以テ下田ハ變シテ上田ト爲リ自ラ買受望人多キヲ致セリ  
故ニ現行法ノ如ク議會ノ評決ヲ取ルニ止メ敢テ地方長官ノ認可ヲ

取ルヲ要セス又本條ノ「但」ノ字ヲ兩所ニ填用シタルハ妥穩ナラス  
是レ上ノ「但」ノ字ハ若シノ字ニ換ルヲ可トス「區町村會」ヲ會法ト爲  
スハ好修正ト思考スレトモ本官ハ府知事縣令ノ認可ヲ得テ處分ス  
ルコトヲ是認セサルニ因リ前後悉ク賛成スル能ハス聊カ意見ヲ陳  
ス

○議長 午餐ノ爲メニ散會シ午後開會セン

午後零時五分閉場

午後ハ他ノ公事アリテ開會セス

元老院會議筆記明治十七年四月二十一日

禁傍聽

○第四百三十九號議案

區町村費怠納者處分方ノ儀第二讀會ノ續會

議長 東久世通禧

出席議員

- |     |       |
|-----|-------|
| 四番  | 黑田 清綱 |
| 七番  | 本田 親雄 |
| 九番  | 細川潤次郎 |
| 十三番 | 野村 素介 |
| 十四番 | 井田 小讓 |
| 十六番 | 福原 實  |
| 十七番 | 大久保一翁 |

- 十八番 林八景友幸
- 十九番 上杉 茂憲
- 二十番 官本 小一
- 二十二番 西 周
- 二十三番 神山 郡廉
- 二十五番 鍋島 直彬
- 二十六番 西村 貞陽
- 二十七番 箕作 麟祥
- 二十九番 津田 真道
- 三十番 榎村 正直
- 三十二番 大鳥 圭介

○新田口二十式...

...

...

三十三番 神田 孝平

○... 三十四番 河田 景與

三十五番 海江田信義

三十六番 渡邊 清

三十八番 長岡 護美

四十二番 渡邊 洪基

四十三番 田邊 太一

四十四番 三浦 安

內閣委員 番外參事院議官安場 保和

○... 同 番外參事院議官補牧 朴真

○... 同 番外參事院員外議官補白根 專一

午前第九時四十分開場

○議長 本日ハ第四百三十九號第二讀會十九日ノ續會ヲ開ク四十二番ノ修正說現ニ問題ニ在リ書記官ヲシテ更ニ朗讀セシメン

書記官 森山茂 朗讀

區町村會法ニ於テ評決シタル區町村ノ怠納者ハ總テ明治十年十一月十一日第七拾九號布告ニ據リ處分ス可シ但財產公賣ノ際買受望人ナキトキハ官沒ノ手續ヲ爲サス郡區長又ハ戶長ニ於テ之ヲ管掌シ區町村會議ノ評決ヲ取り府知事縣令ノ認可ヲ得テ處分ス可シ但明治十四年第二十四號布告ハ廢止ス

○四十二番 渡邊洪基 本官ノ前會ニ提出セシ修正文ハ心目ヲ要點ノミニニ傾注セシヲ以テ字句ノ修正ヲ漏セリ原案ノ「但」ノ字ヲ兩所ニ填用

シタルハ妥穩ナラス故ニ上ノ「但」ノ字ヲ若シノ二字ニ換ント欲ス贊成者ニシテ異議ナクハ請フ之ヲ改メン且併セテ一辨ス可キ有リ前キニ某議官ハ財產公賣ハ重事ナルニ却テ地方長官ノ認可ヲ受ケス獨リ買受望人ナキ場合ニ於テ其認可ヲ取ルヲ要スルハ不可ナリ寧ロ本條ノ「評決ヲ取り」以下ノ文字ヲ削除スルニ如カスト云フモ公賣處分ハ重事ナリ殊ニ買受望人ナキ場合ノ如キハ結局ノ處分ナルヲ以テ其間奸計ヲ以テ自己ヲ利スル者無キヲ保セス故ニ買受望人ナキ場合ニ於テ地方長官ノ認可ヲ經セシム可キハ緊要ナリトス故ニ下付原案ノ精神ヲ失ハスシテ之ヲ修正シ十四年第二十四號布告ト矛盾セサラシムルコトヲ要スルナリ

○十四番 井田讓 四十二番ノ說ク所ハ其理ナキニ非サルモ本官ハ同意

ヲ表スルヲ得ス何トナレハ前議案ノ如ク區町村費ノ課目費目ヲ明  
掲スルモ猶且公賣處分ノ其當ヲ得サルヲ望慮セシニ本案ハ全ク課  
目費目ヲ明掲セサルヲ以テ其區域ノ判別シ難キヲ憂フ故ニ本官ハ  
内閣ニ向テ本案ノ收銷ヲ乞ハント欲スルコトヲ豫陳ス

出席 一番 柴原 和

同 八番 伊丹 重賢

○二十七番 箕作 麟祥 區町村會ノ文字ヲ議會ト改ムルハ實ニ本官ノ心ヲ  
獲タル者トス且其但「ヲ若シニ作ルモ同感ナリ又凡ソ公賣處分ノ  
一事ハ素ヨリ明白疑フ可キニ非サレハ府知事縣令ノ認可ヲ經ルヲ  
要セサレトモ買受望人ナキ場合ノ處分ト云フ如キ單ニ處分ト言ヘ  
ハ其意義廣汎ニシテ何如ナル處分ヲモ包括ス是レ望慮ニ堪ヘス故

ニ必ス府知事縣令ノ認可ヲ經セシムルヲ要ス元來公賣處分ハ土木  
費ノ怠納者ノミニ限り其他ノ公共費用ノ怠納者ニ至テハ貸借金ト  
同シク民事裁判所ニ出訴ス可シト爲スハ事理當ヲ失ス思フニ區町  
村費ハ地方稅ト性質相ヒ密邇スレハ其怠納者モ亦必ス公賣處分ニ  
付セサル可ラス豈唯土木費ニ限ル可ケンヤ又其費目ニ關シ前會ニ  
於テ九番ノ番外ニ質問セシニ番外ハ内務省ノ布達ヲ以テ指定スト  
答ヘタレハ決シテ望慮スルヲ須ヒス前議案ノ如ク課目費目ヲ明掲  
スルトキハ何處ノ區町村會ト雖モ必ス其課目費目ヲ議決セサル可  
ラサルヤノ嫌ヒ有リ故ニ之ヲ揭示セサル本案ノ精神ニ從フテ修正  
スルヲ可トス

○三十六番 渡邊 清 本官ハ現問題ニ同意セス現問題ハ十一年第七十九



○號布告及ヒ十四年第二十四號布告但書ニ對スル者ナリ抑モ區町村費ノ怠納者ハ地方長官其處分ニ干涉スルカ議會專ラ處分スルカノ二途アルノミ土木費ノ怠納者ハ從來水利土功會之ヲ處分セシニ今回ハ地方長官ノ干涉スル者ト爲セリ又公賣財産ノ買受望人ナシト云者ハ廢靴做衣等ノ無用物ナラシ此等ハ燒棄ニ付スルモ可ナリ彼ノ田圃家屋等ノ買受望人ナキ如キハ絶無ノ事ナラシ然ラハ則チ買受望人ナキ場合ノ處理ヲ揭示スルモ是レ具文タルニ過キス思フニ此等ハ從來舉テ議會ノ處分ニ委セシヲ以テ猶ホ舊貫ニ仍ルヲ可トス故ニ現問題消滅セハ本官ハ十四年第二十四號但書ト同一意味ナル前議案第九條ノ文辭ヲ此ニ移用スル修正說ヲ提出セントス此ノ如クセハ事理始メテ穩當ナルヲ得ヘキナリ

○一番柴原和

現問題ニ關シテハ本官向キニ半ハ之ヲ是認シ半ハ之ヲ

非認シ其意見大抵三十六番ト同一ナルヲ述ヘ又其文辭モ「但」ノ字ノ重複シテ穩安ナラス故ヲ以テ修正說ヲ提出センコトヲ豫陳セリ二十七番ハ財産公賣ハ重事ナリ其處分ハ務メテ鄭重ナラシメサル可ラス買受望人ナキ場合ノ如キハ尤モ宜ク意ヲ用フヘシト云ヘリ元來買受望人ナキトキハ官沒ス可キ者ナルモ暫ク戸長ニ托シテ之ヲ保管セシメ定期ニ至レハ焚棄ニ付スルモ川流ニ投スルモ便宜ニ從ヒテ處分スルナリ然ルニ買受望人ナキ財産トハ破傘做籠等素ヨリ用ニ供ス可ラサル者ナルノミ其用ニ供ス可キ者ニ至テハ必ス買受望人アルナリ蓋シ永ク無用ノ物品ヲ保管スルハ甚タ厭忌ス可キヲ以テ議會ノ便宜ニ處分スルハ固トニ善シ然ルヲ必ス府知事縣令

ノ認可ヲ經ルト爲スハ無益ノ煩勞ヲ求ムル者ニシテ前議案第九條ニ此事ヲ言ハサルハ當然ナリ故ニ初メ本官ハ本案ニ地方長官ノ認可ヲ經ルト言ヘルハ恐クハ筆者ノ誤録ニ出タルナラント臆斷シ番外ニ向テ一回ノ質問ヲモ爲ササリシ是レ必シモ二十七番ノ説ク如キニ非ス上ノ「但」ノ一字ヲ若シノ二字ニ改ムルトノ豫陳ハ問題發議者モ採用セルニ似タレトモ是レ獨リ文字上ノ瑣事ナルノミ公賣處分ハ單ニ土木費ノミニ限ラス其他ノ區町村費モ同一ノ處分ニ出ルヲ要ス即チ前議案ニ關シ全部付託修正委員ノ提出セル修正案ノ如クスル是レナリ且夫レ今回ノ下付原案ハ內閣ニ於テ本院ノ衆議ヲ採擇セシニ成レリト信ス故ニ十四番ノ辨論ニ拘ラス到底單行布告ト爲シ「府知事縣令」云云ヲ削除スルヲ要ス

○三十二番 大島圭介

本官ハ問題賛成者ナリ思フニ前布告ニ修正ヲ加フルヨリハ別ニ本案ノ如キ新布告ヲ發スルヲ可トス「但」ノ文字ヲ複用スルハ妥穩ナラスト云フモ前句ノ「但」ハ條文中ニ在リ若シ後句ノ「但」以下ヲ別行ト爲セハ此「但」ノ字ハ總體ニ關スルヲ以テ決シテ重複ニ涉ラス然レトモ之ヲ改ムル亦可ナリ一番ハ「府知事縣令」云云ヲ無用ト爲シテ削除セント云フハ本官モ同意ナレトモ已ニ三十六番ノ云ヘル如ク縣令ノ認可ヲ要スルハ實際稀有ノ事ニ係ルヲ以テ之ヲ存スルモ決シテ煩勞ヲ増ストノ望慮ヲ要セス到底本官ハ本案ノ旨趣ヲ明示スルヲ欲シ「府知事縣令」云云ノ文字ヲ存スルト否トニ關セス新タニ布告ヲ發スルヲ善シトス前修正案ヲ之ニ充テントスルハ甚タ厭忌ス可シ故ニ現問題消滅セハ更ニ一番ノ豫陳説ヲ

提出スルヲ俟テ之ニ賛同セントスルナリ

○四十四番 三浦安

本官ハ元來本案ヲ廢棄ニ付シ内閣ノ再考ヲ請ハント欲スルヲ以テ今其理由ヲ略述セン本官ノ前議案ニ關シ付託修正委員ニ中選シタルヤ廢棄說ヲ提出セシモ亦此精神ニ外ナラス今日ハ戸長官選區町村會開設等ノ爲メニ區町村費隨テ増加シ一方ニ於テハ米價甚シク低下シテ人民ノ生計ニ困難ヲ加フルノ時ナレハ決シテ此公賣處分法ヲ布告スル時機ニ非ス故ニ今後ノ一二年間ハ宜ク従前ノ慣行ニ仍ルヘキナリ且夫レ今日ニ至ルマテ此公賣處分法ヲ立ル無キモ實際ニ支障ヲ見サレハ暫ク之ヲ他日ニ譲リ以テ徐ク實際ノ景況ヲ視察スルヲ要ス故ニ現問題消滅セハ本官ハ廢棄說ヲ提出スルコトヲ豫陳ス

○三十三番 神田孝平

本官ハ本案ヲ賛成ス輓近區町村共ニ學校費其他ノ公共費用ヲ増加スルヲ以テ其怠納者ノ處分法ヲ定ムルハ已ムヲ得サルナリ元來此等ノ事項ハ政府ノ干涉セサルヲ可ト爲スモ是レハ別題ト爲シテ姑ク之ヲ置キ現今ノ情勢ニ於テハ適宜ノ措置ト認メテ之ヲ賛成ス「府知事縣令」云云ノ文字ハ之ヲ存スルモ之ヲ削ルモ其實ハ同一ナリ縱令府知事縣令ノ認可ヲ經ル者ト爲スモ畢竟少シク定式ノ順叙ヲ鄭重ナラシムルノミ既ニ土木費怠納者處分ノ順叙アルヲ以テ之ニ倣フナリ今ニ於テ之ヲ變更スルハ無益ナラン三十六番ノ豫陳セル如クスルヲ可トス

○議長 四十二番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十三人

○議長 少數ナルヲ以テ四十二番ノ修正説ハ消滅ス

○一番柴原和 本官ハ豫陳セシ修正説ヲ提出ス其文案タル前半ハ四十

二番ノ修正文案ト同一ニシ後半ハ明治十四年二十四號布告但書ノ  
文辭ノ如ク但財產公賣ノ際買受望人無之節ハ官沒ノ手續ヲナサス  
郡區長又ハ戶長ニ於テ之ヲ管掌シ其處分ハ會議ノ評決ニ任スヘシ  
ト爲サントスルニ在リ

○十四番井田讓 賛成ス本案ハ到底修正セサレハ實際ニ支障ヲ見シ四

十二番ノ説ノ如クスルモ可ナレトモ一番ノ説ハ更ニ完全ナルヲ覺  
フ

○三十三番神田孝平 少シク異見ナキニ非サルモ瑣末ノ事ニ係ルヲ以テ

之ヲ舍キ以テ一番ヲ賛成ス到底公賣處分ハ一定ニ歸セシメサル可

ラス而シテ舊慣ニ仍ルヲ穩當ナリト信ス

○三十番榎村正直 到底原案ハ是認スル能ハス前キニ四十二番ニ賛成セ

シカ今又一番ヲ賛成ス

○二十七番箕作麟祥 本官ハ前キニ「府知事縣令」云云ノ文字ヲ存スルヲ

是認セシモ其説ハ消滅セリ然レハ則チ原案ニ同意センカ原案ノ如  
クシテハ十四年第二十四號ノ結局分明ナラサルヲ以テ是亦同意ス  
ル能ハス又廢棄説ニモ同意スル能ハス因テ一番ノ動議ヲ賛成セン  
ト欲スルヨリシテ聊カ質問セン本條ノ但書ハ十四年布告但書ノ如  
ク之ヲ挿入スルカ

○一番柴原和 但書即チ明治十四年第二十四號布告但書ハ四十二番ノ

云ヘル如ク分註ト爲シテ挿入セントス

○議長 一番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○四十二番 渡邊 洪基

本官ハ究竟府知事縣令ノ認可ヲ經ル者ト爲スヲ至當ナリト信ス一番ハ此事ヲ要セサル例證トシテ公賣ニ際シ買受望人ナキハ敝傘破籠ノ類ニシテ其他ハ決シテ買受望人ナキニ非ス然レハ則チ府知事縣令ノ認可ヲ得ルハ稀有ノ事ニ係ルト云フモ是レ恐クハ然ラサラン何トナレハ從前ハ土木費ノミ公賣ノ處分ニ付シ其他ハ悉ク官沒ニ付シタレハナリ今回ノ如ク一般ニ區町村費ノ息納者ニ公賣處分ヲ行フトキハ決シテ敝傘破籠等ニ止マラサルヲ以テ其公賣ニ付スルヲ拒ム者ナキヲ保タス故ニ必ス府知事縣令ノ干渉スルヲ善シトス顧フニ昨年來公賣處分ヲ受ル者ノ日ニ月ニ其數ヲ増シ栃木縣下ノ如キハ一村ヲ舉テ公賣處分ヲ受ケタリト聞ク此

ノ如ク公賣處分ヲ受ル者ノ多キトキハ平日ニ在テハ買受望人多キ物品ナルモ或ハ全ク買受望人ヲ見サル場合ナシトセス故ニ「府知事縣令」云云ノ文字ヲ留メテ容易ニ此處分ヲ行フコトヲ得セシメ又一方ニ在テハ議會ノ奸曲ヲ遏ムルヲ要ス故ニ現修正說ハ些少ノ差異ニ過キサレトモ本官ハ之ヲ賛成スル能ハス

○一番 柴原 和

四十二番ノ反對論旨ヲ按スルニ從前公賣處分ハ土木費ニ限リシモ今回ハ衛生教育其他苟モ公共費用ニ係ル息納者ハ悉ク之ヲ公賣處分ニ付セントス其處分ヲ受ル者隨テ増加スルヤ終ニ買受望人ナキ場合ヲ見シ故ニ「府知事縣令ノ認可ヲ得」ノ文字ヲ留メサル可ラスト云フニ似タリ然ルモ本官ハ謂ラク縱令費目ハ從前ヨリ多キヲ加フルモ公賣處分ハ同一ニシテ公賣ニ付スル財産ハ固ヨ

リ彼此同一ナリトス然レハ則チ費目ハ多キヲ加フルモ買受望人ハ亦同一ナル可シ且ヤ本官ノ修正説ノ過半ハ四十二番ノ修正説ヲ採取セシナレハ之ニ同意センコトヲ望ム

○九番 細川潤次郎

本官ハ現問題ヲ非認セサルモ必シモ此ノ如ク多數ノ文字ヲ修正セサルモ可ナリト信ス宜ク三十六番ノ云ヘル如ク「府知事縣令」云云ヲ削除シ餘ハ原案ニ仍ルヲ可トス本官ノ修正文案ハ三十六番ノ意匠ト符合スルヤ否ヤヲ知ラサレトモ試ミニ之ヲ舉レハ會議ノ評決ヲ取り處分スヘシト爲サントス即チ十四年第二十四號布告ハ土木費ニ係ル者トシ本案ハ區町村費ニ係ル者トシ單行法律ヲ以テ並存セシムルヲ善シトス然ルニ種々ノ修正説ノ出ルハ此二者ヲ合一セシメントスルニ由ルナリ四十二番等ノ云フ如ク必ス

「府知事縣令ノ認可ヲ得」ノ文字ヲ存スルトキハ本案ノ爲メニ第二十四號布告ヲ廢セサル可ラス故ニ若シ「府知事縣令」云云ヲ削レハ兩布告並行スルモ支障ヲ致ササルナリ

○議長 一番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者八人

○議長 少數ナルヲ以テ一番ノ修正説ハ消滅ス

○十四番 井田讓

本官ハ豫陳セシ如ク本案ノ收銷ヲ内閣ニ請ハント欲セシニ二十七番ハ主務省ノ訓示ヲ以テ課目費目ヲ指定ス可ケレハ望慮スルヲ須ヒスト云ヘリ然レトモ本官ハ主務省ノ訓示ハ法律ニ對シテ公賣處分ノ事項ヲ指定スル効力ヲ有スル者ナルヤ否ヤヲ疑フナリ某議官ハ公賣處分ヲ法律上ニ示スモ詳細ニ課目費目ヲ列掲

スル如キ瑣末ノ事ニ涉ラサルハ却テ深味ヲ存スト云ヘリ此ノ如キハ本案ヲ玩弄物視スル者ニシテ甚々望ム所ニ非ス本案ハ實ニ人民ノ財産ニ關係スル者ナルニ深味ヲ存スト云フヲ以テ之ヲ評スルハ何等ノ謬見ソヤ縱令主務省ノ訓示ニ示ス有ルモ本官ハ決シテ放棄スル能ハス切ニ此案ヲ廢棄ニ付センコトヲ望ム

○四十四番<sup>三補</sup>安 本官ハ四十四番ヲ賛成ス二十七番ハ廢棄說ヲ防ク爲メニ主務省其訓示ヲ以テ課目費目ヲ指定スルコトヲ云ヒ以テ深味ヲ存スト爲スモ法律上費目ヲ明掲セスシテ公賣處分ヲ確定スル如キハ解ス可ラス若シ必ス此法ヲ行ハント欲セハ宜ク前議案ノ如クスヘシ然ルニ前議案ニハ費目課目ヲ明掲セシニ却テ之ヲ廢棄ニ付セシ所以ハ其以テ町村ノ慣習ヲ打破シ及ヒ協議費ヲ一變シテ俄ニ

地方稅ト相類スル費目ト爲スノ不可ナルニ由ル内閣ハ前議案ヲ收銷セラレシモ其大體ノ旨趣ハ決シテ廢棄セラレス更ニ單行布告ヲ以テ區町村會ノ議決セシ費用ノ怠納者ヲ公賣處分ニ付スト定ムルハ明備ナラサル法律ナリ故ニ必ス之ヲ行ハントセハ明カニ費目課目ヲ揭示セサル可ラス然ルニ其費目ハ内務省ノ訓示ヲ以テ指定スルニ委スト云フハ尤モ失體ナリト謂フ可シ思フニ是レ内閣ニ於テ艸卒ニ修正ヲ加ヘ以テ再ヒ下付セラレタルナラン故ニ内閣ニ向テ再考ヲ請ハサル可ラス試ミニ之ヲ時勢ニ考ヘ且之ヲ政畧ニ察スルニ現今ハ此ノ如キ法律ヲ發布ス可キ時會ニ非ス且ヤ怠納費用ノ金額ハ若干ニ上ルヲ知ラサレトモ蓋シ多額ナラサル可キヲ信ス若シ一縣内ニ百千人ノ多キニ至ラハ已ムヲ得ス公賣處分ヲ施ス可キモ

然ラサレハ決シテ之ヲ施スヲ要セス或ハ一縣下ノ景況ニ因テハ全ク怠納者ヲ見サル有ラン然ルヲ一タヒ此法制ヲ發布スルヤ全國ノ人情ニ惡感觸ヲ起サシムルハ實ニ甚シカラシ況シテ時機ヲ以テ之ヲ言ヘハ近時米價ノ低落セシヨリ租金ヲ納ムル能ハス爲メニ一村ヲ舉ケテ公賣處分ヲ受ル有ルヲヤ現今區町村會ノ設ケ有リテ爲メニ費用ヲ増加スル時ナルニ法律ニ費目ヲモ指定セサル公賣處分ヲ受ル如キ人民ノ不幸タル果シテ何如ソヤ若シ將來民情益々輕薄ニ流レ怠納者愈々多キヲ加ヘ復タ奈何トモスル能ハサルニ至ラハ已ムヲ得ス始メテ本案ヲ發布ス可キノミ本官ハ謂ラク戸長ヲ官選ト爲シ區町村會ノ整頓スルトキハ區町村費ハ必ス周給スルニ至ラン是レ自然ノ情勢ナレハナリ第四百三十八號議案ハ即チ此カ爲メニ

發布セントス若シ然カスル能ハサレハ第四百三十八號議案ハ無効用ノ者ノミ此議案ニシテ果シテ實効ヲ奏セハ怠納者ハ自ラ減少ス可キナリ顧フニ區町村費ハ多少協議費ノ性質ヲ變セシ者ナルヲ以テ費目ヲ明掲セサルトキハ動モスレハ看テ協議費ト做ス無キヲ保タス蓋シ區町村費ハ多少協議費ノ性質ヲ帶ル者ナレハナリ又體裁上ヨリ之ヲ言フモ課目費目ヲ指定セスシテ公賣處分ヲ行フハ法律ノ明文ニ揭示セサル刑罰ヲ人ニ加フルカ如シ前陳ノ理由ナルヲ以テ本官ハ此法案ヲ廢棄ニ付シ内閣ノ再考ヲ請ハント欲スルナリ

○十九番 上杉茂憲 賛成

○議長 十四番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○外安場保和 一番 只今十四番ハ廢棄說ヲ提出シ四十四番ハ熱心ニ之ヲ



賛成セリ然レトモ本案ノ必要ナル所以ハ前會以來充分ニ説明セル者ノ如シ決シテ四十四番ノ強辨以テ其意ヲ通セシメントスル如キニ非サレハ復タ贅辨ヲ要セサレトモ本案ノ旨趣ヲシテ一層明白ナラシムル爲メニ聊カ陳辨セン抑モ内務省ノ訓示ヲ以テ費目ヲ指定スルヲ看テ法律上ノ事項ヲ指定スルト做サハ或ハ濫妄ニ渉ル無キ能ハサルモ法律上既ニ「區町村會ニ於テ議決シタル費用」ト掲記セル以上ハ區町村會ノ法律ニ遵フテ議決セシ者ナルハ明瞭ナリ決シテ濫妄ニ渉ルノ罣慮ヲ須ヒス故ニ普通ノ法律ヲ以テ怠納者ヲ處分スルヨリモ特別ニ怠納者ニ對シ定メタル法律ヲ以テ之ヲ處分スルヲ可トシ前議案ノ如クニシテ下付セラレタリ然ルニ本院ノ衆議ニ於テ全國畫一ノ費目ヲ法律ニ掲クルヲ不可トシ怠納處分ニ關スル

單行布告ヲ發スルヲ可トセシヲ以テ内閣ニ於テモ其理由ヲ認識シ取捨折衷シテ此單行布告ト爲シ以テ再ヒ下付セラレタリ蓋シ是レ區戸長ノ配下人民ノ爲メニ已ムヲ得ス出訴スル煩勞ヲ除カン爲メニ區町村公共費用ノ怠納者ハ此順叙ニ從フテ公賣ニ付スルコトヲ規定セラレタルナリ故ニ内務卿ノ訓示ハ前キニ九番ニ答辨セシ如ク鎮守神社ノ祭禮ニ披用スル浴衣等ノ價金ヲ此公共費目ニ入ル可ラサルコトヲ訓示スルニ過キサレハ體裁上ニ於テモ決シテ支障ヲ見サルナリ四十四番ハ時機政畧ノ二點ニ較量スルニ此法案ハ之ニ適應セスト云フモ此ノ如キハ畢竟各自ノ意想ニ由ルナレハ本官ハ敢テ辨駁セサル可シ四十四番ハ體裁ヲ失スト唱フルモ今日ニ於テ若シ此公賣處分法ヲ發布セサレハ區戸長ノ怠納事件ノ爲メニ民事

上ノ訴訟ヲ起スハ煩煩ニ堪ヘサラントス然ラハ公賣ノ處分ヲ行フ  
ト之ヲ行ハスシテ出訴スルト其體裁ニ於テ得失果シテ何如ソヤ聊  
カ陳辨シテ以テ各官ノ參考ニ供ス

○四十四番<sup>三浦安</sup>

番外一番ニ對シ少シク辨解セン此ノ如キ議案ニシ

テ討論數日ニ亘レハ其議ノ多岐ニ分ルルハ固ヨリ免レサル所トス  
故ニ其議ノ一二ヲ把テ本院ノ主旨ト認ムルヲ得ス唯其最後ニ議決  
上奏スル所ハ即チ本院ノ定説ニシテ未タ議決上奏セサル以前ニ在  
テハ縱令調査委員ノ論説ナルモ本ト是レ未定ノ者ニシテ決シテ本  
院ノ定議ニ非ス而シテ其定議ハ即チ廢棄説ナリ本官モ第二回ノ調  
査委員トシテ意見書ヲ提出セシトキハ此案ヲ以テ單行布告ト爲ス  
ヲ可ト爲セシモ爾後審案ヲ下シ遂ニ廢棄ヲ以テ議定案ト爲スニ至

レリ故ニ本官ノ前キニ提出セシ意見書ニ於テ此案ヲ單行布告ト爲  
サント云ヒシハ既ニ議場ニ消滅シ廢棄説實ニ本院ノ定議ト爲リタ  
レハ固ヨリ一己人ノ意見ト異ナリ然ルニ番外一番ハ內閣ニ於テ本  
院ノ定議ヲ採用シ以テ此ノ如ク單行布告ト爲セリト云フニ似タル  
モ是レ本官等數名ノ意見ノミ以テ本院ノ定議ト謂フヲ得ス且ヤ今  
日ニ在テハ本官等モ已ニ前論ノ失當ナルヲ悟レリ然ルニ番外一番  
ハ本官等ヲ目シテ其言ヲ左右シ自己ノ意旨ヲ達セント欲スル者ナ  
リト云ヘリ是レ解ス可ラス夫レ言ヲ左右スルトハ非理ヲ以テ有理  
ト爲スカ如キヲ謂フ本官等豈然センヤ恐クハ滿場議官モ亦必ス此  
ノ如ク聞取セサル可シ番外一番ノ內務卿ノ訓示ノ分界ヲ辨セシハ  
甚タ明晰ナリ實ニ其言ノ如ク到底法律ニ對シテ事項ヲ指定スル効

カナキ者ト爲ストキハ區町村會ノ議決ハ實ニ茫漠ニ屬セン現今ノ區町村會ノ情況ニ據レハ到底正當ノ費目ヲ議決スルハ能ハサル可シト信ス彼ノ地租ノ如キ土木費ノ如キ其怠納者ヲ公賣處分ニ付スルニハ皆特ニ費目ヲ明示スルヲ以テ區町村費ノ如キ亦必ス之ヲ明掲セサル可ラス然ラサレハ其費目ノ區域ノ甚タ茫漠ナルヲ憂フルナリ番外一番ハ發布時機ノ適否ハ問フ所ニ非スト云フ如キモ昨年来公賣處分ニ遇フ者ノ多數ナルハ實際ニ徴シテ明白ナリ此公賣處分ノ人民ノ身心ニ痛切ナル殆ント身代限處分ト匹似ス願フニ本院ノ前議案ニ對スル付託修正委員ノ修正案ハ兩回共ニ内閣ニ於テ修正セラレタル本案ニ比スレハ更ニ精備ナリシモ當時議場ノ容ル所ト爲ラサリシニ非スヤ番外ノ言ハ本官ノ所論前後相異ナルヲ駁

難スルニ似タルヲ以テ一言辨解セサルヲ得ス既ニ陳述セル如ク本院ノ定議ニ於テハ決シテ單行布告ト爲スヲ是認セシコト有ラス即チ其議案ニ對シテ廢棄說ヲ上奏セシノミ

○議長 十四番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者七人

○議長 少數ナルヲ以テ十四番ノ廢棄說ハ消滅ス

○九番細川潤次郎 本官ハ豫言セシ修正說ヲ提出セン即チ三十六番ノ意

見ト同一ニシテ本案ノ原文ハ悉ク之ヲ存シ唯「府知事縣令ノ認可ヲ得」ノ文字ヲ削除スル是レナリ某議官ノ十四年第二十四號布告但書ト同一ノ文體ニ出テシメントスル論說ハ一理ナキニ非スト雖モ本案ハ素ヨリ單行布告ナレハ必シモ同一ノ文體ト爲スヲ要セス

○一番柴原和 賛成ス先キニ四十二番及ヒ本官ノ修正説俱ニ消滅ニ歸セシモ到底下付原案ノ如クシテハ十四年第二十四號布告但書ト矛盾スルヲ以テ必ス修正ヲ加ヘサル可ラス而シテ九番ノ修正説ハ尤モ完備ナルヲ信ス若シ區町村會法ニ據リ云云ト爲ストキハ既ニ第四百三十八號區町村會法ニ於テモ本法ニ準據スト言ヘル文字アルヲ以テ恰モ第四百三十八號議案第十五條ニ據ルヤノ疑ヒ有リ故ニ九番ノ説ノ如ク第二十四號布告ハ之ヲ存立セシメ本案ハ單行セシム可キナリ既ニ修正廢棄ノ兩説共ニ消滅ニ歸セシヲ以テ此修正説ニ決セサレハ不完全ナル原案ノ存立スルニ至ラン若シ議長ノ專斷ヲ以テ原案ニ可決セハ已マン然ラスシテ其可否決ヲ議場ニ取ラハ原案モ亦消滅セントス故ニ本官ハ切ニ九番ノ動議ノ成立センコトヲ望ム

ヲ望ム

○議長 九番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○三十六番渡邊清 本官モ賛成ス本官ノ前キニ陳述セシハ其意全ク九番ノ説ト同シ熟考スルニ「府知事縣令」ノ認可ヲ得「云云」ハ無用ノ文字ナリ斷シテ刪除スルヲ可トス

○四十二番渡邊洪基 九番ノ動議ハ允當ナレトモ其説ノ如クナレハ十四年第二十四號布告ニ準シテ處分ス云云ニ止メテ可ナリ決シテ冗長

ノ文辭ヲ要セス此冗長ノ文字ヲ用ヒシハ内閣ノ旨意蓋シ府知事縣令ノ認可ヲ受ケシムルヲ重シト爲スニ由ル現修正ハ此法案ノ精神ニ反スルヲ以テ同意ヲ表スル能ハス

○七番本田親雄 本官ハ「府知事縣令」以下ノ文辭ヲ削除セント欲ス即チ

○九番ト同意ナリ此單行布告ニ關シテハ各種ノ論説出テタルモ第二十四號布告ト並行セシムルヲ最モ可ナリト爲スヲ以テ改メテ九番ヲ賛成ス

○議長 九番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者五人

○議長 少數ナルヲ以テ九番ノ修正説ハ消滅ス

○四十四番 三浦安 本官ハ第三讀會ニ至リ修正説ヲ提出セント欲ス因

テ本會ニ於テ内閣委員ニ質問ス可キ者アリ即チ各府縣下ノ區町村費怠納ノ爲メニ區戸長ノ民事裁判所ニ出訴セシ件數ハ幾許ナリヤ

○外番二番 牧朴眞 只今調査書類ヲ携帶セサレトモ昨年ノ調査ニ據レハ全國内三萬有餘ノ戸長ヨリ出訴セル件數ハ八百乃至九百件ニシテ

是レ十五年太政官司法部ノ調査セシ所ヲ記憶スル者ヲ舉タリ十六年ノ如キハ必ス多少增多セリト信ス

○二十七番 箕作麟祥 九番ノ修正説ハ消滅ス本官ハ前キニ四十二番ノ動議ヲ是認セシモ不幸ニシテ消滅ニ歸セリ更ニ審考スルニ本案ノ如ク「村會」ト言フノミニシテハ不可ナリ

○議長 二十七番ニ告ク時已ニ午ニ近シ午餐ノ爲メニ一旦散會シ午後ニ開會セン

午前第十一時五十五分閉場

午後零時四十三分開場

退席

一番

柴原 和

退席

八番 伊丹 重賢

同

十八番 上杉 茂憲

同

三十五番 海江田信義

同

三十八番 長岡 護美

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○二十七番 笑作 麟祥 午前ノ説ヲ續カン本官ハ別ニ修正説ヲ提出セント

ス其旨意ハ四十二番ト大概相同シク本案ニ「府知事縣令ノ認可ヲ得」云云ト言ヘルハ區町村會ヲ管制スルニ必要ニシテ決シテ一番ノ云ヘル如ク誤テ掲載セシニ非ス又十四年第二十四號布告ヲ廢銷ス可シト云フモ是レ實ニ緊要ナル者タリ然レトモ冒頭ニ「區町村會法ニ於テ」云云ト言フトキハ法例ヲ以テ評決スルニ嫌ヒ有リ故

ニ法ノ字ヲ用フルヲ要セス宜ク區町村費ノ下ニ及ヒ水利土功會ノ評決シタル土木費ノ文辭ヲ挿入シ「ノ怠納者」ト爲サントス思フニ區町村費ハ衛生教育等ノ各種ノ費用ヲ包括シ土木費モ亦其中ニ在ルニ似タルモ少シク性質ノ殊異ナル者ナルヲ以テ特ニ土木費ノ文字ヲ掲ケ以テ之ヲ明示スルヲ可トス又上句ノ「但」ノ字ハ若シニ改メ末文ノ區町村會ハ會議ト爲スヲ要ス其他ハ則チ四十二番ノ修正案ト異ナル無シ

○三十番 榎村 正直 賛成

○議長 二十七番ノ修正文案ハ更ニ書記官ヲシテ朗讀セシメン

書記官 森山 茂 朗讀

區町村會ニ於テ評決シタル區町村費及ヒ水利土功會ノ評決シタル

土木費ノ怠納者ハ總テ明治十年<sup>十一月</sup>第七拾九號布告ニ據リ處分ス可シ若シ財産公賣ノ際買受望人ナキトキハ官沒ノ手續ヲ爲サス郡區長又ハ戶長ニ於テ之ヲ管掌シ區町村會議ノ評決ヲ取り府知事縣令ノ認可ヲ得テ處分ス可シ但明治十四年第二十四號布告ハ廢止ス

○三十二番<sup>大鳥圭介</sup> 本案ニ對シテハ種種ノ修正說出テタルモ隨テ消滅シ遂ニ成立スルヲ得サリシ然ルニ現修正ハ前各修正ニ比スレハ一層明瞭ナルヲ以テ更ニ賛成ノ意ヲ表ス而シテ其賛成スル所以ハ十四年第二十四號布告ト矛盾セサラシムルヲ欲スルニ外ナラス

○二十九番<sup>津田真道</sup> 本官ハ前會ニ於テ廢棄說ヲ提唱セシモ今回ハ姑ク本案ヲ賛成ス本官ノ素意ハ府縣會ヲモ廢止スルヲ今日ノ國情ニ適應スト爲スニ在レトモ政府ニ於テハ現今ノ情況以テ本案ヲ布クヲ

要スト認定セラルルナレハ改メテ賛成セサルヲ得ス然ルニ現問題ハ本案ヨリモ更ニ完良ナリト信シ之ヲ賛成ス

○四十四番<sup>三浦安</sup> 本官モ前キニ廢棄說ヲ提唱セシモ行ハレス若シ第三讀會ニ於テモ廢棄說ノ行ハレサル以上ハ前議案ノ如ク課目費目ヲ明掲スルヲ以テ可ナリトスル意見ヲ持ス要スルニ課目費目ヲ明掲セシテ怠納者ヲ公賣處分ニ付スルハ甚タ不可ナリ

○議長 二十七番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者十三人

○議長 多數ナルヲ以テ二十七番ノ修正說ニ決ス

○議長 第二讀會ハ此ニ終ル

○番<sup>安場保和</sup> 本案ノ會議ハ已ニ三月ノ長キニ涉レリ屢々促カスニ

似タルモ各地方官共ニ本案ノ發布ヲ翹望スル甚タ急ナレハ今日引續キ第三讀會ヲ開カンコトヲ請求ス

○四十四番 三浦安 會議三月ノ長キニ渉ルハ議案ノ連帶セルノミナラ

ス事件ノ重大ナルカ爲メナリ殊ニ第四百三十八號第九條第十條ニ至テハ猶ホ修正ス可キ者アリ僅僅ノ日數ヲ延フルモ支障ナカラシ定例ニ依テ開會センコトヲ望ム

○議長 本日引續キ開會スルニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ第三讀會ハ明後二十三日ニ之ヲ開カン本日ハ散會セヨ

午後一時閉場

元老院會議筆記明治十七年四月二十三日

禁傍聽

○第四百三十八號議案 地方稅規則第三條第十五項改正ノ儀 區町村會法改正ノ儀 第三讀會

○第四百三十九號議案 區町村費息納者處分ノ儀 同

議長 東久世通禮

出席議員

- 二番 鷺尾 隆聚
- 四番 黒田 清綱
- 十三番 野村 素介
- 十四番 井田 讓
- 十五番 關口 隆吉
- 十六番 福原 實



十七番	大久保一翁
十八番	林友幸
二十番	官本小一
二十二番	西周
二十三番	神山郡廉
二十五番	鍋島直彬
二十七番	箕作麟祥
二十八番	楠本正隆
二十九番	津田真道
三十番	榎村正直
三十一番	津田出

三十二番	大鳥圭介
三十三番	神田孝平
三十四番	河田景與
三十六番	渡邊清
三十八番	長岡護美
四十番	伊集院兼寛
四十二番	渡邊洪基
四十三番	田邊太一
四十四番	三浦安

内閣委員 一番外 参事院議官安場 保和  
 同 二番外 参事院議官補牧 朴眞

午前第九時三十分開場

○議長 第四百三十八號第四百三十九號議案ノ第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治十三年<sup>四</sup>月<sup>四</sup>第拾六號布告地方稅規則第三條第十五項左ノ通改正  
シ十七年度ヨリ施行ス

一戸長以下給料旅費

右奉 勅旨布告候事

○十四番 井田 讓 本官ハ第二讀會ニ在テハ廢棄說ヲ主張シ後チ誤リテ

本案ニ同意セシモ熟考スルニ本官ノ初考ノ如ク本案ハ心ヲ安ンシ

テ賛成スル能ハサル者タリ因テ本日ハ再ヒ廢棄說ヲ提出セサルモ  
本案ニ同意ヲ表セサルコトヲ一言ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十三人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治十三年<sup>四</sup>月<sup>四</sup>第拾八號布告區町村會法左ノ通改正ス

出席

一番

柴原 和

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

區町村會法

第一條 區町村會ハ區町村費ヲ以テ支辨スヘキ事件及其經費ノ支出徵收方法ヲ議定ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十六人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第二條 區町村會ノ會期、議員ノ員數、任期、改選及其他ノ規則ハ府知事縣令之ヲ定ム

○四十二番 渡邊洪基 本條ノ議員ノ下ニ選舉ノ二字ヲ挿入セン蓋シ此

動議ハ第二讀會ニ於テ二十七番既ニ之ヲ提發シ其同意者ノ原案同意者ニ比スレハ僅ニ少ナカリシヲ以テ否決セリト雖モ凡ソ同一町村ノ公共事件ハ其住居人民相互ニ負擔セサル可ラス然ルニ地租ヲ納ムル者ハ其町村會議員ノ選舉權被選舉權ヲ有スルニ多額ノ町村費其他ノ公共費用ヲ納ムルモ此權ヲ有スル能ハス斯ク一方ニハ專ラ權理ヲ有セシメ一方ニハ專ラ義務ヲ負ハシムルハ不公平タルヲ免レス此ノ如キ議員ヲ以テ編成スル議會ナランニハ恐クハ區町村會ト謂フ可ラサラン故ニ本會議員ノ選舉權被選舉權ハ獨リ地租ヲ納ムル者ニ限ラス地價割、營業稅ヲ納ムル者等ニモ法律ヲ以テ此權ヲ與ヘテ可ナリ然レトモ今ヤ議員ノ任期、改選ノ規則モ府知事縣令

之ヲ定ムルナレハ前陳ノ事項モ亦同ク其之ヲ定ムルニ任セ他日全  
國一定ノ法律ヲ制スルモ未タ晚カラス且ヤ此事ヲ府知事縣令ニ委  
スルモ内務卿ハ之ニ對シ訓示ヲ發スル權ヲ有スルヲ以テ實際ニ障  
碍スル規則ヲ設ケシムル如キコト無ラン然レハ則チ前會ニモ陳ル  
如ク本案ノ第九條第十條ヲ削除シ本案ハ惟タ從前ノ協議會ヲ變シ  
テ議會ト爲スニ止ムルヲ可トス因テ前會ニ否決セルニ拘ラス今又  
此動議ヲ提出ス幸ニ定數ノ賛成者ヲ得テ問題ト爲ランコトヲ望ム

出席

九番

細川潤次郎

○二十七番 笑作 麟祥 賛成ス此修正ハ前議案下付ノ時ニ於テ全部付託調  
査委員ノ報告案ニモ之ヲ載セ前會ニモ其是ナルヲ辨セリ因テ今復  
タ賛成ノ理由ヲ贅述セス

○一番

柴原 和

賛成ス發議者ノ云フ如ク議員ノ下ニ選舉ノ二字ヲ加ヘ  
而シテ第九條第十條ヲ削ルハ至當ナリトス現行法ニ據レハ區町村  
會規則ハ區町村會之ヲ作り府知事縣令ノ裁定ヲ請フニ止ムルハ各  
位ノ知悉スル所ノ如シ今ヤ之ヲ改メテ府知事縣令ノ其規則ヲ定ム  
ル者ト爲スハ可ナレトモ第九條第十條ノ事項ニ限リ一躍シテ法律  
上ニ之ヲ定メ全國ヲ通シテ畫一ナラシムルハ本官其可ナルヲ知ラ  
ス何トナレハ若シ區町村會議員ノ選舉權被選舉權ヲ有スルハ惟タ  
地租ヲ納ムル者ノミト爲セハ爲メニ區町村會ヲ開ク能ハサル地方  
ノ續出シテ今回ノ改正モ遂ニ畫餅ニ歸ス可ケレハナリ故ニ議員ノ  
資格ヲ定ムル如キ亦之ヲ府知事縣令ニ任セ土地ノ情況ニ應シ適宜  
ノ法制ヲ立シムルヲ優レリトス

○十五番關口 隆吉 賛成ス本案ノ如ク惟タ地租ヲ納ムル者ノミニ限ラハ  
 實際ニ障礙セン思フニ本案ノ旨趣タル郡村ニハ必ス土地ヲ有スル  
 者多キニ居リ土地ヲ有セハ必ス其地租ヲ納ム然レハ則チ地租ヲ納  
 ムル者ニ限ルモ事ニ害セスト爲スニ在ラン然ルニ焉ソ知ラン其土  
 地ハ往往他人ノ所有ニ係ルヲ又彼ノ五十年乃至百年前ニ始メテ開  
 墾セル村里等ニ在テ土地ヲ有スル者ハ僅僅二三人ニ止マリ其他ハ  
 皆所謂小作人ノミ偶マ家計ニ裕ナル者モ其所有地ハ隣村内ニ在テ  
 本村内ニ在ラサル如キ事情少ナカラス各府縣ノ區町村會規則ヲ觀  
 ルニ選舉被選舉權ノ有無ハ不動産即チ土地家屋ノ有無ヲ以テ之ヲ  
 別ツヲ多シトス是レ各町村内ニハ土地又ハ家屋ヲ有セサル者ノ幾  
 ント之レ無キニ由ルナル可シ今日ノ實況此ノ如クナルニ遽カニ法

律ヲ以テ全國一般地租ヲ納ムル者ニ限ルト爲セハ今日町村會ヲ開  
 ケル地方モ明日ハ之ヲ開クヲ得サルニ至ラン是ニ由テ之ヲ觀レハ  
 宜ク四十二番ノ修正ノ如クシ府知事縣令ニ委シテ任期改選等ノ規  
 則ト同ク各地ノ狀況ニ應シ以テ之ヲ設ケシムヘキナリ

出席

七番

本田 親雄

○三十三番神田 孝平

地租ヲ納ムル者ノミ選舉權被選舉權ヲ有スト爲ス

ハ妥當ナラス蓋シ家屋稅等ヲ納ムル者ニモ此權ヲ與ヘテ可ナリ四  
 十二番ノ動議ニ據レハ地方官ニ在テ此等ノ斟酌ヲ加フルヲ得ン因  
 テ之ニ左袒ス

○三十六番渡邊 清

賛成ス前議案下付ノ時ニ於テ本官等全部付託調査

委員トシテ本條ニ選舉ノ二字ヲ加ヘ以テ第九條第十條ヲ削除スル

報告ヲ爲シタリ抑モ此旨趣ニ關シテハ前會ニモ頗ル議論アリテ遂ニ否決セリト雖モ原來區町村會ハ府縣會ト異ニシテ議員選舉ノ界域甚タ狹隘ナリ故ニ本案ノ如ク地租ヲ納ムル者ノミニ限レハ恐クハ議員ヲ選舉スル能ハサル地方ヲ生セン但シ斯ノ如ク定メサル可ラサル土地モ亦之レ有ル可シト雖モ地方ノ情況ハ彼此其宜ヲ異ニスルヲ以テ一概ニ地租ヲ納ムル者ノミニ限ル可キニ非ス宜ク四十二番ノ動議ノ如ク此等ハ府知事縣令ノ意見ニ委カスヘキナリ

○議長 四十二番ノ修正說ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○番二番 眞 此動議ハ第二讀會ニ否決セシニ何ソ圖ラン今又問題

ト爲レリ蓋シ內閣ノ旨趣ハ第二讀會ニ詳陳シタルモ再ヒ此動議ノ出ルヲ以テ之ヲ考フレハ當時ノ説明恐クハ未タ徹底セサリシナラ

ン抑モ第九條第十條ヲ設ル要旨タル區町村會法ヲ制スルニハ議員ノ資格ヲ定ムルヲ必要ナリト爲スニ在リ反對論者ハ選舉ヲ以テ任期、改選等ト同視スルモ凡ソ法律ヲ制スルニ彼モ稍ヤ似タリ此モ甚タ類セリトシテ一一ニ列記セハ冗長ニ失シ錯雜ヲ免レス夫レ現行法ハ是等ノ事項ヲ舉テ區町村會ノ定ムル者ト爲シ府知事縣令ハ惟タ之ニ認可ヲ與フルニ過キス此ノ如キハ往往ニ障礙ヲ生スルヲ以テ本案ハ任期改選等ハ府知事縣令ノ定ムルニ任セ議員ノ資格ハ甚タ重要ナルヲ以テ之ヲ法律ニ明示スルヲ要セリ若シ此ヲモ府知事縣令ノ定ムルニ任セハ或ハ恐ル彼ノ普通選舉ト爲ス如キコト有ンヲ不幸ニモ斯ル地方ヲ生セハ其地方ノ政治ハ無賴者ノ手中ニ落ツ可シ之ニ反シテ若シ府縣會規則ノ如キ嚴格ナル規則ヲ作ランニハ

爲メニ區町村會ヲ開ク能ハサル地方ヲ生セン寬嚴孰レニ失スルモ  
 障礙ヲ致スヤ此ノ如シ現問題ハ或ハ實際ニ適應スルニ似タレトモ  
 各府縣彼此規則ヲ異ニシ且或ハ普通選舉ト爲ス如キ憂ヒ無キ能ハ  
 ス論者ハ惟タ地租ヲ納ムル者ノミニ止メハ一町村内一議員ヲモ舉  
 ル能ハス隨テ其町村會ヲ開クヲ得サル地方ヲ生セント云フモ凡ソ  
 地租ヲ納ムル者ハ即チ土地ヲ有スル者ナリ土地ヲ有スル者ハ郡村  
 ニ多シ郡村ニシテ地租ヲ納ムル者ノ全ク無キコトハ萬萬之レ無ル  
 可シ或ハ若シ之レ有シニハ是レ未タ町村會ヲ開クヲ要セサル新開  
 地等ノ村落ナルノミ且ヤ府縣會規則ハ地租五圓以上ヲ納ムル者ニ  
 選舉權ヲ與ヘ十圓以上ヲ納ムル者ニ被選舉權ヲ與フルニ止ムレト  
 モ本案八十錢ナリ一圓ナリ苟モ地租ヲ納ムル者ニハ選舉權被選舉

權ヲ與ントスルニ在リテ敢テ過嚴ナルニ非ス某議官ハ地價割營業  
 稅等ヲ納ムル者ニモ均ク此權ヲ付與シテ可ナリ地租ヲ納ムル者ニ  
 限ルハ公平ナラスト云フモ府縣會議員ノ資格ヲ定ムルニモ亦均ク  
 地租ヲ以テ標準ト爲セリ是レ地租ハ本邦租稅中ノ大部分ヲ占メ所  
 謂農ヲ以テ建ル國ナルニ由ル故ニ本案モ之ニ倣ヘリ若シ區町村會  
 議員選舉被選舉權ノ與奪ニ限り泛ク不動産ヲ有スル者ト否ラサル  
 者トヲ別チテ之ヲ定ムル者ト爲セハ選舉用簿冊等モ新ニ調製セサ  
 ルヲ得ス論者ハ府知事縣令ヲシテ規則ヲ作ラシメハ決シテ實際ニ  
 障礙ヲ致サス地租ヲ納ムル者ノミニ限ルハ狹隘ニ失スト云フモ各  
 府縣區町村會ノ便宜ニ作レル會則ヲ通觀スルニ概シテ選舉權被選  
 舉權ヲ得ルハ地租ヲ納ムル者ニ限り見ニ市街地ニ地租ヲ納ムル者

ノ少ナキハ各官ノ疑ハサル所ナル可シ然ルニ其市街地ノ最モ多キ  
東京ノ區町村會規則スラ此權ヲ得ルハ地租ヲ納ムル者ニ限レリ然  
レハ則チ本案ノ實際ニ障礙ヲ致ササルヤ必セリ且夫レ府知事縣令  
ヲシテ是等ノ規則ヲ作ラシムルモ其果シテ實際ニ適合スル者ヲ得  
ルヤ否ヤハ知ル可ラス況シテ彼ノ普通選舉ト爲スノ虞懼アルヲヤ  
第二讀會ニ於テ第九條第十條ノ本案ニ可決セル以上ハ益ス此問題  
ノ消滅センコトヲ望ム

○四十二番

渡邊  
洪基

只今番外二番ハ本邦ハ農ヲ以テ國本ヲ建ツ我カ國  
庫收入ノ大部分ハ地租ニ存スルコトヲ云ヘリ其レ然リ凡ソ租稅ヲ  
課スルハ畫一單純ナルヲ要スルハ實ニ租稅法ノ主眼タリ故ヲ以テ  
明治元年ニハ地租ト海關稅トヲ除キ他ニ國稅ノ存スル無ク今日ハ

漸ク増シテ數十種ト爲レリ然レトモ仍ホ務メテ細目ニ涉ラサルヲ  
期ス然リ而シテ地方稅ハ國稅ヨリモ一層細目ニ涉リ町村費ハ更ニ  
一層細目ニ涉ル是レ實ニ已ムヲ得サルニ出ツ然ルニ町村ノ政務ニ  
至ルマテ國稅ノ主義ヲ追フ可シトスルハ甘服スル能ハス抑モ町村  
會ハ其町村ニ係ル公共經費ノ支出徵收方法ヲ議定スルヲ本體ト爲  
ス然レハ則チ其町村ニ住居シ其公共經費ヲ負擔スル人民ハ宜ク其  
會議ニ參與スル權ヲ有スヘシ統計上ヨリ考察スルモ地租ヲ納ムル  
者ハ今日スラ既ニ多數ナラサレハ將來ハ愈ヨ之ヲ減ス可シ尙ホ之  
ヲ詳說スレハ近時町村ノ總數ハ全國ヲ合セテ七萬許選舉權被選舉  
權ヲ有スル町村人民ハ一百八十萬人餘ニシテ每一町村ニ二十人内  
外ノ比例ナリ但シ今日ハ町村ノ制度未タ確立セス數町村ヲ合セテ



一町村ト爲セル有レハ此權ヲ有スル者ハ平均每一町村ニ二十五人内外ト做スモ百人ニ五人千人ニ五十人ノ比例ニ過キス參政權ヲ有スル者ハ斯ノ如ク僅少ナルモ町村ノ費用ヲ負擔スル者ハ頗ル衆多ナリ夫レ一町村會ト雖モ必ス十人乃至十五人ノ議員ヲ要ス可シ然ルニ本案ニ據レハ選舉權被選舉權ヲ有スル者ハ或ハ一村内ニ數人ヲ見ルニ止マリ若クハ三四町村ヲ合シテ一町村會ヲ開ク場合ニ在テハ一町村ニシテ一人ノ議員ヲモ出ス能ハサル者ヲ生スル有ン故ニ宜ク選舉權被選舉權ヲ有セシムル範域ヲ廣ウセサル可ラス但シ本官ト雖モ素ヨリ普通選舉ヲ好ムニ非ス他日全國畫一ノ法制ヲ設ルマテ府縣ヲシテ各其宜ヲ制シ土地ナリ他ノ不動産ナリ若干ノ資産ヲ有スル者ニ此權ヲ與ヘシムルヲ欲スルノミ尙ホ此動議ヲ發ス

ルニ他ノ一理由ノ在ル有リ本案ノ末條ニ「聯合區町村會及水利土功會ハ總テ本法ニ準據ス」ト言ヘルモ聯合區町村會ト水利土功會トハ相同シカラス又區町村會ノ議員ハ皆必ス聯合區町村會若クハ水利土功會ノ議員ト爲ルニ非ス然ルニ第九條第十條ヲ存スルトキハ其議員ヲ選定スルモ必ス之ニ準據セサルヲ得ス此點ニ於ルモ亦其障礙ヲ見ル故ニ本問題ニ可決センコトヲ望ム

○番外三番白根

番外二番ノ第九條第十條ニ係ル説明及ヒ本問題ニ對

スル駁撃ハ十分議場ニ徹底セリト考フルモ只今四十二番ノ論辨ニ對シ一言セサルヲ得ス四十二番ノ第九條第十條ヲ削除シ第二條ニ選舉ノ二字ヲ加フ可シトスル動議ハ主トシテ統計上ニ出タル者ノ如シ然ルニ其統計ハ何物ニ據レル歟或ハ統計年鑑ニ非ス乎果シテ

然ラハ是レ府縣會議員ノ選舉權被選舉權ヲ有スル者即チ地租十圓以上ヲ納ムル者ト五圓以上ヲ納ムル者トノ人數ニ係リ内務省庶務局ニ在テ本員等ノ嘗テ稽查セル所ニ異ナラス蓋シ統計院ノ之ヲ採用セルナラン地租五圓以上ヲ納ムル者ハ其人數實ニ多カラスト雖モ單ニ地租ヲ納ムル者ト云ハハ五倍乃至十倍ノ多キニ至ル可シ故ニ此統計ヲ以テ本案ヲ批難スルハ其正鵠ヲ失セリ又凡ソ參政權ヲ有スルハ地租ヲ納ムル者ニ限ルト爲セハ一町村内ニ一議員ヲモ出ス能ハサル地方ヲ見ント云フハ或ハ然ラン然レトモ此ノ如キハ僅僅ノ町村ニシテ敢テ顧慮スルヲ須ヒス聞ク土地ヲ有セサル者ノミ住居スル地方ニ在テ嘗テ會議ヲ開キシニ土地ニ對シテ偏重ノ費額ヲ課シ爲メニ大ニ地主ヲ困苦セシメタル有リト抑モ此第十一條ニ

適スル如キ地方ハ強テ開會ヲ要セスト云フハ前議案下付ノ時ニ於ル本院ノ議論ナリ善哉此言ヤ一町村内ニ地租ヲ納ムル者ナキ地方ノ如キハ即チ開會ヲ要セサル地方ト謂ハサル可ラス又其家屋稅營業稅戶數割等ヲ納ムル者モ同ク議員ト爲シテ可ナリ獨リ地租ヲ納ムル者ノミニ限ルハ公平ナラスト云フハ一理ナキニ非ス然レトモ家屋ノ如キハ未タ家券ヲモ發セス東京府下ハ稍ヤ端緒ニ就キタルモ他ノ府縣ハ未タ然ラス而シテ營業ハ變轉恒無シ故ニ土地ヲ標準ト爲スノ稽查ニ易ク且其實際ニ障礙ヲ見サルニ如カス而シテ協議費ハ何人カ最モ多ク之ヲ出スマト間ハハ石高割ニ課スルヲ常ト爲セハ寧ロ土地ヲ所有スルノ比例ト謂フ可シ十三年ニハ全國ノ協議費一千五百餘萬圓ニシテ此額内其土地ニ課スル者ハ少ナクモ三分

ノ二ヨリ以上ニ在リシナラン此比例タル獨り十三年ノミニ止マラス即チ參政權ヲ有スル人民ハ地租ヲ納ムル者ニ限ルト爲スモ其失當ナラサルヲ知ルニ足ラン若シ夫レ其取捨ヲ府知事縣令ニ任カスモ地租ヲ標準ト爲スニ非スシテ將タ何等ノ方途カ之レ有シ聯合區町村會水利土功會ノ事ニ於ルモ共ニ障礙ヲ見ス抑モ本案ト雖モ町村會議員ハ必ス聯合區町村會議員ト爲ル可シト命シ若クハ爲ル可ラスト令スルニ非ス水利土功會モ素ヨリ然リ但シ河川ノ修繕等ハ土地ニ係ル事業ナレハ從前概シテ土地所有者專ラ此議ニ與レリ是レ決シテ失當ト謂フ可ラス之ヲ要スルニ第九條第十條ハ一モ削除ス可キ理由アルヲ知ラス現問題ノ旨趣ニ對シテハ前會十分ニ論駁セルヲ以テ今復タ喋喋スルヲ要セサレトモ一言以テ四十二番ニ答

フルコト爾リ

○四十二番

渡邊 洪基

議長ニ問フ本官ハ番外三番ノ言ニ對シ本官ノ誤見ニ非サルヲ辨シ併セテ聯合會ニ係ル番外三番ノ誤聞ヲ正サントス發言ヲ許スヤ否ヤ

○議長 前說ノ遺漏ヲ補フハ可ナリ誤見ニ非サルヲ辨スル如キハ其底止スル所ヲ知ラサルヲ以テ發言ヲ許サス

○三十番

榎村 正直

本官ハ原案ヲ是認ス四十二番等ハ選舉權被選舉權ニ係ル規則ハ地方長官ニ委シテ適宜ニ之ヲ定メシム可シト云フモ地方長官ニ任カストキハ數年ヲ經ルノ間若シ或ル一二府縣ニ於テ誤テ普通選舉ト爲ス有レハ他ノ府縣ニ在テモ勢ヒ自ラ之ニ倣ハサルヲ得スシテ遂ニ全國一般ニ普通選舉ト爲スニ至ル可シ蓋シ地方長

官ハ各其管轄地方ノ便宜ヲ謀ルハ言フヲ俟タサレトモ隣近地方ニ倣フハ情勢自ラ免レサル所トス況シテ嚴猛ヨリ緩紓ニ赴クニ在ルヲヤ之ニ反シテ土地所有者ニ非サレハ其地方ノ利害ヲ感スル信切ナラストハ動ス可ラサルノ理由ナリ論者ハ水利土功會等ニ關シ顧慮スルニ似タレトモ從前堤防等ノ議事ニ關シ往往ニ障礙ヲ見ル所以ヲ考フルモ率子是レ青年書生輩ノ之カ議員ト爲ルノ多キニ由レリ抑モ土地所有者ニ非サレハ土地ノ爲メニ心力ヲ盡スノ薄キハ人情ノ常ノミ此人民ヲ議員ト爲スモ焉ソ土地所有者ノ如ク着實ナル議事ヲ爲スヲ望ム可シヤ故ニ現問題ニハ同意セサルナリ

○四十四番 三浦安

本官モ現問題ニハ同意セス其理由ハ前會ニモ之ヲ辨シ今又番外二番番外三番並ニ某議官ノ駁撃ニ於テ幾ント之ヲ盡

シタレトモ尙ホ少シク補陳セン現問題ノ發議者ハ議員ノ員數任期改選等ノ規則ヲ府知事縣令ノ定ムルニ任カストキハ議員ノ資格ヲ定ムル如キモ亦宜ク之ニ任カスヘシト云フモ員數任期等ハ鎖末ノ事項ニ過キス之ニ反シテ資格ヲ定ムルハ頗ル重大ノ事項ナリ我カ元老院ノ如キ議官ノ資格ハ章程ニ明示シ府縣會規則ニ在テモ議員ノ資格ハ亦之ヲ明示ス若シ町村會モ依然トシテ團樂會ノ見狀ニ放任スルナレハ是レ別論ニ屬スレトモ苟モ其弊害アルヲ知り會法スラ之ヲ改ントスルニ臨ミ議員ノ資格ヲ其會法ニ定ムルモ何ノ妨ケカ之レ有シ畢竟町村會ノ動モスレハ議事法ニ背キ若クハ治安ヲ害スル有ルハ議員ノ善良ナラサルニ由リ議員ノ善良ナラサルハ其資格ニ制限ヲ立ル無キカ爲メナリ然レハ則チ其資格ヲ定ムルハ本案

ノ骨子ト謂フ可シ豈其員數任期改選等ト同視ス可キナランヤ思フニ此一事ニシテ其宜キヲ得ハ他ハ設令ヒ少小ノ闕點アルモ町村會ニシテ治安ヲ害スル如キ虞懼ナカル可シ然ルニ現問題ノ如ク此事ヲモ地方長官ニ任カストキハ遂ニ全國一般ニ普通選舉ト爲ルニ至ルハ蓋シ某議官ノ云ヘル如クナラントス一旦普通選舉ト爲シタル地方ニシテ他日之ヲ廢シ制限ヲ設クルニ難キハ事理ノ最モ賸易キ者ナリ故ニ先ツ此制限ヲ設クルヲ要ス若シ之カ爲メニ開會スル能ハサル町村ノ如キハ第十一條ノ町村會ヲ開設シ得ヘカラサル狀況アル地方ト看テ可ナリ且ヤ此制限ヲ設ルモ他日時機ノ宜キヲ量リテ之ヲ紓フル有ル可キモ今日ハ決シテ其時機ニ非ス地租ヲ納ムル者ノミ町村會ノ議員ト爲スハ公平ナラスト云フモ財産ヲ有スル

者ニシテ土地ヲ有セサルハ幾ント之レ無シ蓋シ土地ヲ有スルハ財産ノ基礎ナリトノ格言ハ古今淪フ可ラス是ヲ以テ見ニ東京府下ノ如ク商業者最モ多キ地方スラ地租ヲ納ムル者ヲ以テ議員ト爲ス蓋シ苟モ幾分カ其地方ノ尊敬ヲ受ル者ナレハ必ス土地ヲ有セサルハ莫シ抑モ土地所有ノ一事タル舊幕府ノ時代ニ在テハ或ル種類ノ人ニ限りテ之ヲ許スニ過キサリシモ大政維新以來土地ヲ有スルニ非サレハ邦國ヲ尊ヒ財産ヲ重ンスル心思深切ナラストシテ一般ニ人民ノ之ヲ有スルヲ許シ即チ土地ヲ有スルハ人民ノ第一ノ權理ト爲レリ故ニ之ヲ以テ選舉ノ標準ト爲スハ決シテ失當ノ措置ナラス但シ府縣會議員ノ資格ト同ク地租幾圓以上ト制限セハ論者ノ云フ如ク或ハ開會スル能ハサル町村アルヤヲ知ラサレトモ本案ハ其制限

ヲ設ケサルヲ以テ顧慮スルヲ要セス四十二番ノ統計表ヲ援キタルハ蓋シ府縣會議員ノ選舉權被選舉權ヲ有スル者ノ人數ナリ然ルモ尙ホ平均一町村ニ二十五人ヲ得ルナレハ五圓以上ノ制限ヲ設ルモ其人員ニ缺少ヲ告ルヲ覺ヘス況シテ本案ハ單ニ地租ヲ納ムル者ト爲セルニ在ルヲヤ一番ノ前日論辨セシ所ハ苟モ其町村ニ本籍ヲ繋ル者ニハ悉ク選舉權被選舉權ヲ與フ可シト云ヘリ此點ハ當時二十七番ノ痛ク之ヲ排駁シテ毫モ餘蘊ヲ留メス今ヤ四十二番ハ地租ニ限ラス區町村費ヲ納ムル者ニモ此權ヲ與ヘテ可ナリト云フ其論旨タル一番ト稍ヤ異ナルニ似タルモ區町村費ト言ハハ戶數割ヲモ包含ス可シ戶數割ナレハ之ヲ納メサル者極メテ少ナシ然レハ則チ普通選舉ト徑庭ヲ見サルナリ夫レ英ヤ米ヤ佛ヤ今日普通選舉ヲ行フ

モ本邦ハ國體本ト他邦ト同シカラス故ニ縱令二十三年ニ國會ヲ開クモ亦此等ノ各邦ニ倣ハサル可キハ本官ノ信シテ疑ハサル所ナリ況シテ今日ニ於テ此法制ヲ行フ如キヲヤ一番ハ前キニ地方官ノ職ニ在リ四十二番ハ各府縣ヲ漫遊シ共ニ我國ノ事情ニ通曉セル人人ナリ此二議官ニシテ此說ヲ爲ス本官ハ愈ヨ本案ニ於テ議員ノ資格ヲ明示シ以テ他日ノ憂患ヲ防クノ緊要ナルヲ信スルナリ二十七番ハ現問題ノ贊成者ナルモ未タ其說ヲ演ヘス故ニ之ヲ排駁スルニ由シ無シ一番四十二番ノ說ノ如キハ實ニ寒心ニ堪ヘサルヲ以テ切ニ現問題ノ消滅ニ歸センコトヲ望ム

○一番柴原和地租ヲ納ムル者ヲ議員ト爲スハ素ヨリ不可ナル無シ本官ハ惟タ全國ヲ通シテ畫一ノ法ヲ設ケハ爲メニ町村會ヲ開ク能ハ

サル地方ヲ生スルヲ恐ルルノミ蓋シ府知事縣令ヲシテ區町村會議員ノ資格ヲ定メシムルモ率子地租ヲ納ムル者ニ限ル可シト雖モ土地ノ狀況ニ應シ戸數割營業稅等ヲ納ムル者モ議員タラシムルノ便法ヲ設ケ以テ一町村内ニ一議員ヲモ出ス能ハサル如キ失當ヲ避ルヲ得ントス四十四番ハ本官ノ前日ノ論辨ヲ看テ普通選舉ヲ是認スル者ナリト論スレトモ爾時僅ニ一二名ノ不足ヲ以テ本案第九條ヲ存スルニ決セリ因テ將來町村會ヲ開ク能ハサル地方ヲ生センコトヲ憂ヒ第三讀會ヲ俟テ更ニ修正說ヲ提出スルヲ期シ假ニ說ヲ發シタルノミ素ヨリ普通選舉ヲ是認スルニ由ルニ非ス彼ノ漁民ノ如キハ一般ニ土地ヲ有セス故ニ漁村ニハ土地所有者甚々稀ナリ宿驛等ニ在テハ酒店吳服店財木商等盛ニ商業ヲ營スル者アルモ其地所ハ

隣村人ノ所有ニ係ル如キ往往ニ之レ有リ而シテ從前ハ便法ヲ以テ是等ニ對シ町村會議員ノ選舉權被選舉權ヲ與ヘシニ本案ヲ發スル以上ハ然スル能ハス論者ハ是等ノ地方ハ第十一條ニ據リ開會セスシテ可ナリト云フモ他ニ便法ノ在ル有ルニ之ヲ採取セス却テ強テ此畫一ノ法制ヲ布キ以テ從前保有セシメタル權理ヲ奪フハ甚々不可ナリ故ニ若シ問題說ニ決スレハ府知事縣令ヲシテ是等ノ規則ヲ定メシメ土地ノ狀況ニ應シ家屋稅營業稅等ヲ納ムル者ニモ此權理ヲ與ヘ以テ前陳ノ如キ憂ヲ避ルヲ得ン地租ヲ納ムル者ヲ議員ニ取ルハ本官素ヨリ之ヲ非視セサレトモ町村會ハ府縣會ト異ナルニ其議員ヲ選フ區域ノ甚々狹少ナルヲ以テ異論ヲ唱フルノミ番外三番ハ地租ヲ納ムル者ニ限ルモ議員ヲ得ルニ難カラスト云ヘリ府縣ニ

就テ之ヲ論セハ則チ然ルモ町村ハ然ラス顧フニ區町村會ヲ廢銷セ  
 ン乎今ヤ府縣會ヲ開設シ國會モ亦將サニ開設セントス決シテ此ニ  
 出ル能ハス然レハ則チ務メテ區町村ヲ開設スル途ヲ塞ク可ラス是  
 レ本官ノ問題說ヲ是認スル所以ナリ論者ノ之ヲ非視スルハ蓋シ現  
 行法ニハ弊害アリ戸長ノ舉措ニモ亦弊害アルヲ以テ戸長ヲ小郡長  
 ノ如クシ町村ニ用掛ヲ置キ數町村ヲ聯合シテ議會ヲ開設セントス  
 ル内閣ノ旨趣ノ今仍ホ腦裏ニ留着スルニ由ルナラン各府縣皆三四  
 町村ヲ聯合スルトキハ地租ヲ納ムル者ト限ルモ其人ヲ得ルニ難カ  
 ラサル可シ然ルニ用掛ヲ置キ町村ヲ聯合スル法案ハ既ニ本院ノ否  
 決スル所ナレハ地租ヲ納ムル者ニ限ルハ實際ニ支障セン蓋シ本案  
 第九條第十條ハ前議案ニ掲載シタル爲メニ今亦偶然ニ之ヲ掲載セ

シナラン必ス之ヲ削除シテ以テ實際ニ障礙セシメサルヲ期セサル  
 可ラス三十番ハ問題說ノ如クハ各府縣ニ於テ種種ノ法則ヲ作ルニ  
 至ル可シト云フモ前陳ノ如ク漁村又ハ商業市邑ニ在テハ全ク地租  
 ヲ納ムル無キ有ラン故ニ一縣内ト雖モ其法則ヲ異ニシテ可ナリ況  
 シテ各府各縣ニ於ルヲヤ之ヲ要スルニ府縣會規則ニ倣フテ地租ヲ  
 納ムル者ヨリ區町村會議員ヲ取ルハ素ヨリ望ム所ナレトモ事實此  
 ニ限ル能ハサルヲ以テ本問題ヲ是認スルナリ

○三十番榎村正直 一言以テ一番議官ノ誤聽ヲ正サン一番ハ本官ノ說ヲ  
 解シテ本問題ニ決セハ各府縣種種ノ法則ヲ作ルニ至ル可シト云ヘ  
 ル如ク論スレトモ本官ハ然ク云ハス若シ一縣ニ於テ誤テ普通選舉  
 ト爲ストキハ隣縣モ之ニ倣ハサルヲ得ス遂ニ全國一般ニ普通選舉



ト爲スノ虞懼アリト論シタルノミ聊カ之ヲ辨ス

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取ン四十二番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 少數ナルヲ以テ四十二番ノ修正說ハ消滅ス他ニ發議ナクハ本條ヲ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

第三條 區會ハ區長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス町村會ハ戶長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者二十六人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

第四條 區會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ町村會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メ府知事

縣令ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

第五條 區長ニ於テ區會、郡區長戶長ニ於テ町村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリト認ムルトキハ其會議ヲ中止シ

府知事縣令ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

○議長 本條ハ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第六條 區町村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリ

ト認ムルトキハ府知事縣令ハ何時タリトモ區町村會ヲ停止シ又

ハ之ヲ解散シテ改選セシムルコトヲ得

○議長 本條ハ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第七條 前條ノ場合ニ於テ停止又ハ解散ヲ命シタルトキハ更ニ開

會ヲ命シ又ハ改選スル迄ノ間區長戸長ハ經費ノ支出徵收方法ヲ

定メ府知事縣令ノ認可ヲ得テ施行スルコトヲ得

○議長 本條ハ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第八條 區町村ニ於テ議員ヲ選舉セス又ハ議員招集ニ應セスシテ

會議ヲ開クヲ得ス及議定スヘキ議案ヲ議定セス又ハ會期內ニ於

テ議案ヲ評決シ終ラサルトキハ前條ノ例ニ依ル

○議長 本條ハ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第九條 議員ヲ選舉スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歳以上ノ男子ニシテ

其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府

縣會規則第十三條第一款第二款第三款ニ觸ル、者及陸海軍ヤ人

現役ノ者ハ選舉人タルコトヲ得ス

○議長 本條ハ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第十條 議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歳以上ノ男子ニシテ

其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府

縣會規則第十三條第一款第二款第三款第四款ニ觸ル、者ハ議員

タルコトヲ得ス

○議長 本條ハ可決ト認メテ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第十二條 府知事縣令其管轄内ニ於テ町村會ヲ開設シ得ヘカラサ

ル狀況アルヲ認ムルトキハ内務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

○外二番 眞議長ニ問フ本員ハ原案第十一條ニ關シ一言セント要

ス發言シテ可ナルヤ否ヤ

○議長 可ナリ

○外二番 眞議員

本員ハ第二讀會ニ削除セシ原案第十一條ヲ恢復セン

コトヲ望ム抑モ第九條第十條ハ區町村會議員ノ資格ヲ定ムル者ニ

シテ頗ル緊要ノ條項ト爲ス故ヲ以テ今既ニ衆議之ヲ可決セリ然ル

ニ其議會ノ議長ノ資格ヲ定ムル條項即チ原案第十一條ヲ恢復セサ

ルハ例ヘハ猶ホ手足アリテ頭顱ナキカコトシ若シ區戸長ヲ議長ト

爲スヲ非視セハ議員ヨリ公選スル者ト爲スカ或ハ其他ノ修正ヲ加

フルハ衆議ノ所決ニ委カスモ苟モ既ニ議員ノ資格ヲ示シテ議長ノ

資格ヲ示ササルハ不完備ノ會法ト謂ハサル可ラス因テ各議員ノ熟

考センヲ請フ

退席

三十一番

津田

出

○九番 細川潤次郎

本官ハ素ヨリ原案第十一條ヲ是認ス抑モ第九條第十條ノ當サニ存スヘキハ實ニ本日某議員ノ切論セル者ノ如シ乃チ本官ハ起立以テ同意ヲ表シタリ蓋シ議員ノ資格ヲ定ムルハ他ノ規則ト異ニシテ地方官ニ委カス可キニ非ス而シテ原案第十一條ノ緊要ナルハ第九條第十條ト徑庭ヲ見ス第二讀會ニ於テ第十一條ヲ削除スル問題ニ對シ本官等痛ク不同意ヲ唱ヘ結局本官等ノ敗ヲ取リタルモ爾時カメテ之ニ抗論セルハ本條ノ緊要ナルニ由レリ夫レ日常ノ談話ニ在テモ議員ノ資格ヲ陳ヘテ議長ノ資格ヲ説カサレハ必ス之ヲ問ハントス況シテ法律ニ於テ其一ヲ掲ケテ其二ヲ掲ケサルヲヤ第二讀會ニ本條ヲ削除シタル論旨ヲ釋ヌルニ區戸長ヲ以テ議長

ト爲スハ一方ニ偏シテ不可ナリ且之ヲ削除スルモ第二條ノ「其他ノ規則」ト言ヘル語句ノ中ニ包含スト爲セル是レナリ然ルニ本條ハ徹頭徹尾議員ヨリ議長ヲ公選スルヲ禁スルニ非サルハ一讀シテ明白ナリ論者若シ議案ヲ發スル區戸長ニシテ議長ト爲ルヲ非視セハ番外二番モ云フ如ク議員ヨリ公選スル者ト修正ス可キノミ唯之ヲ削除スルニ止ムレハ皆ニ法律ノ體裁ヲ傷フノミナラス事實ニモ障碍ヲ致サン思フニ之ヲ存立セシメハ區戸長ヲ議長ト爲シ議員ヨリ議長ヲ公選スル等活用ノ途ヲ與ヘン加之「其他ノ規則」ト言ヘル語句ノ中ニ議長ノ資格ヲ定ルコトヲモ包含セリト看ルハ少シク牽強ニ涉レリ故ニ當時問題發議者スヲ若干ノ文字ヲ補添シ以テ此意ヲ明白ナラシメント云ヘリ是等ノ理由ヲ以テ本官ハ原案第十一條

ヲ恢復スルヲ可トス定數ノ賛成者ヲ得テ問題ト爲ラハ幸甚シ

○四番 黒田清綱 賛成

○七番 本田親雄 賛成

○十七番 大久保一翁 賛成

○二十二番 西周 賛成

○十八番 林友幸 賛成

○議長 九番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○一番 柴原和 問題發議者ハ原案第十一條ヲ解シ區戸長ニシテ議長ト

爲ルモ議員ヨリ議長ヲ公選スルモ能ハサルニ非スト云ヘリ果シテ然レハ支障ヲ見スト雖モ本條ヲ閱讀スルニ議員中ヨリ議長ヲ指定ス「ト明記セリ夫レ指定ト公選トハ大ニ異ナリ指定ト言ヘハ區

戸長ノ議員中最モ人望ノ屬セサル者ヲ指定シテ議長ト爲スモ他ヨ

リ容喙スルヲ得ス前會ニモ陳辨セル如ク區戸長ハ各其職務ノ在ル有レハ率子議長席ニ就ク能ハサル可シ然レハ則チ議員中ノ人望ノ

如何ハ之ヲ措キ一ニ自己ノ信任スル議員ヲ指定シテ議長ト爲スモ未タ知ル可ラス公明正大ヲ旨トスル區戸長ナランニハ斯ノ如キ懸

念ヲ要セサレトモ假令私己ノ便利ヲ謀ルニ意ナキモ識ラス知ラス自己ノ親愛スル者ヲ先ニスルハ人情ノ常ナルヲ以テ其指定ニ任カ

スハ不可ナリ説ノ如ク議員ノ資格ヲ定ムルコトハ「其他ノ規則」ト言ヘル語句ノ中ニ包含スト爲スハ少シク穩當ナラス故ニ議員中ヨ

リ議長ヲ公選スト爲ス修正ナランニハ本官モ或ハ之ニ左袒スルヤヲ知ラサレトモ本問題ニハ前陳ノ如キ障礙アリ因テ之ヲ是認スル

能ハス

○九番細川潤次郎

本官ハ問題發議者ナルヲ以テ尙ホ一回ノ發言ヲ爲サ  
 シ文字上ヨリ之ヲ論セハ公選ト指定ト同一ナラサルハ固ヨリ一番  
 ノ論駁セルカ如シ然リト雖モ前會ニ縷陳セル如ク指定ト言フモ事  
 實ニ在テハ公選ト異ナラス若シ弊害ノ有無ヲ論セハ政府ノ官吏ト  
 雖モ決シテ之レ無キヲ保ツ能ハス然リ而モ人ノ性ヤ善ナリ殊ニ官  
 吏準官吏ニ至テハ最モ其善ナル者ナリ此人ニシテ己レニ代ル者ヲ  
 議員中ヨリ議長ニ選フニ在レハ苟モ私意ヲ插ムニ非サルヨリハ故  
 サヲニ不適任ノ人物ヲ指定スル如キハ蓋シ之レ無カル可シ且ヤ其  
 議員ハ皆町村人民ノ選舉ニ出テ均ク名望ヲ負ヘル者ナリ故ニ本官  
 ハ指定ト爲スモ區戸長ハ適任ノ人物ヲ舉ケテ以テ議事ノ好結果ヲ

得ルヲ望ムヤ疑ヒ無シト信ス若シ其指定ノ文字ノ爲メニ拙劣ノ人  
 物ヲ議長ニ舉ル虞懼アリト云ハハ之ニ反シテ善良ノ人物ヲ舉ルモ  
 亦之レ有シ畢竟人物論ハ題外ニ在ル者ト謂フ可シ

○三十二番大鳥圭介

原案第十一條ニ關シテハ前會ニモ頻頻ニ議論ノ起  
 發シタルモ議長ヲ公選ト爲スハ本官ノ企望スル所ニシテ當時本官  
 ハ喜ンテ本條ヲ削除スル動議ニ起立セシモ第二條ニ係ル修正ハ既  
 ニ行ハレス第九條第十條ヲ削除スル意念モ亦既ニ達セサル以上ハ  
 再考ヲ加ヘサルヲ得ス顧フニ議員及ヒ議長ノ資格ヲ併セテ共ニ法  
 律ニ明示セサレハ已ム苟モ既ニ議員ノ資格ヲ明示セル以上ハ議長  
 ノ資格モ亦明示セサル可ラス然リト雖モ九番ノ原案第十一條ヲ恢  
 復ス可シト云フハ本官甚タ之ヲ好マサルヲ以テ之ニ同意スル能ハ

ス因テ本官ハ現問題ノ消滅スルヲ俟チ前會ニ某議官ノ提出シタル  
議長公選ノ修正說ヲ提出セント欲ス乃チ豫メ此意ヲ陳辨ス

○議長 發議未タ盡キサレトモ時已ニ午ヲ過ルヲ以テ午餐ノ爲メニ  
散會セヨ

午後零時十分閉場

午後第一時開場

退席

三十八番 長岡 護美

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○二十七番 箕作 麟祥 原案第十二條即チ修正案第十一條ヲ朗讀セル後チ

原案第十一條ヲ恢復スル說出タリ此ノ如キハ議事規則ニ背反セサ

ルヤ否ヤ本官ハ之ヲ恠ム然リト雖モ其說ハ既ニ問題ト爲レルヲ以  
テ今復タ之ヲ論セス夫レ原案第十一條ハ第二讀會ニ當リ本官ノ發  
議ニ因テ削除スルニ決セリ是レ議長ヲ公選スルヲ可トシ區戸長ヲ  
議長ト爲スヲ否トシテ然ルニ非ス第二讀會ニ某議官ノ提出セル議  
長公選說ノ敗ヲ取レルヲ以テ知ル可シ請フ聊カ本條ノ恢復ス可ラ  
サル所以ヲ陳ヘン抑モ區町村會議員ノ選舉權被選舉權ヲ定ル如キ  
之ヲ地方官ニ委カスモ普通選舉ト爲スノ憂ヒ無シ即チ午前ニ於テ  
本官ハ第二條ニ選舉ノ二字ヲ加ヘ第九條第十條ヲ削除スル動議ヲ  
賛成セリ某議官ハ之ヲ駁シテ選舉權被選舉權ヲ定ムルハ議員ノ資  
格ニ係ルヲ以テ府知事縣令ニ委カス可ラスト云ヒ本官ハ仍ホ之ニ  
任カス可キ說ヲ持スルモ論者ノ說ク所ハ亦其理由ナキニ非ス之ニ

反シテ第九條第十條ノ可決セル以上ハ原案第十一條ヲ恢復セサル可ラスト云フハ一モ其理由ヲ知ラヌ夫レ議長ノ資格ヲ定ムルト第二條ノ區町村會ノ會期及ヒ其議員ノ員數任期改選等ヲ定ムルト果シテ幾許ノ輕重ヲ存スルヤ本官ハ彼此同シク府知事縣令ニ委セテ適宜ニ之ヲ定メシムルヲ可トス本條ノ如ク區戸長ハ當然ニ區町村會ノ議長タル者ト爲スハ不可ナリ然レトモ議長ハ必ス議員ヨリ公選スル者ト爲スモ不可ナリ原來戸長ノ任選スラ未タ一定セサル今日ナルニ區戸長ヲ議長ト爲スヤ否ヤヲ定メテ畫一法ヲ布クハ大早計ト謂ハサル可ラス尙ホ之ヲ詳説センニ他日ニ制限ヲ緩ウスルハ可ナリ今日區町村會ノ議員ハ地租ヲ納ムル者ノミニ限ル可シト云フハ聞クヲ得ヘキモ議長ノ事項ハ議員ノ資格ヲ定ムルノ比ニ非ス

故ニ宜ク區町村會ノ會期及ヒ其議員ノ員數任期改選等ヲ定ムルト同シク之ヲ地方長官ニ委カスヘシ且ヤ之ニ委カスモ内務卿ハ之ニ對シテ訓示ヲ發スル權ヲ有スレハ惟タ議論上ノミナラス事實上ニモ支障ヲ見サラン若シ此瑣末ノ事項マテ法律ニ明示スルヲ要セハ會期、員數、任期、改選ノ規則モ亦均ク明示セサルヲ得ス但シ區戸長ヲ議長ト爲シ果シテ穩當ナル區町村會ヲ開クヲ得ル地方ニ在テハ之ヲ爲スモ可ナリ又或ハ戸長ハ行政者ノ位地ニ在リ自ラ議案ヲ提出スルナレハ其自ラ發シタル議案ヲ議スルニハ英米等ノ法制ノ如ク之ヲシテ議長タラシメサルモ亦可ナリ到底今日ニ在テ畫一ノ法則ヲ望ムハ得タル者ニ非ス第二讀會ニハ頗ル多數ノ同意ヲ以テ之ヲ削除シ而シテ本日ハ修正案第十一條ニ移リ殊ニ本條ヲ朗讀セル



後チ暫ク發言者ナカリシニ偶マ原案第十一條ノ恢復說出テ遂ニ問題ト爲リタルハ眞ニ意想外ノ事ト謂フ可シ敢テ望ム第二讀會ニ於ル決議ニ仍リテ本會ヲ經過センコトヲ

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取ン九番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者八人

○議長 少數ナルヲ以テ九番ノ回復說ハ消滅ス

○九番細川潤次郎 今又前說ト小異ナル修正說ヲ提出セン議場ノ景況ヲ觀ルニ議長ノ公選ヲ是認スル多キニ居ルニ似タリ故ニ今回ノ修正說ハ此主義ヲ折衷セリ即チ原案第十一條ノ「事故アルトキハ」ノ下文「區長戸長ニ於テ云云」ヲ議員中ヨリ公選シ府知事縣令ニ報告ス

○ヘシト改メ其他總テ原文ニ仍テ本條ヲ恢復スル是レナリ蓋シ公選ノミニ限レハ一方ニ偏スル嫌ヒ有リ乃チ本修正ノ如ク區戸長モ議長ト爲ルモ議員ヨリ議長ヲ公選スルモ便宜ニ委カス者ト爲セハ本條ヲ削除セル旨趣ト徑庭ヲ存セス而シテ法律ハ完備スルヲ得ン若シ第九條第十條ヲ削除セルナラハ原案第十一條モ共ニ削除スルニ如カサレトモ既ニ彼ヲ存シテ議員ノ資格ヲ明示スル以上ハ此ヲ存シテ議長ノ資格ヲ明示セサル可ラス極論スレハ設令ヒ單ニ議長ハ議員ヨリ公選スル者ト爲スモ本條ヲ存セサルニ比スレハ寧ロ可ナリ然レトモ是レ素ヨリ望ム所ニ非ス究竟本官ハ原案ヲ是認スレトモ恢復說ハ既ニ消滅シ且指定ト爲セハ稍ヤ窮屈ナルヲ以テ幸ニ今回提出セル修正說ノ行ハレンコトヲ望ム

○二十番宮本小一 九番ヲ賛成ス此條ヲ存セサレハ本案ノ完備ヲ望ム能ハス九番ノ動議ニ據レハ區戸長ヲ議長ト爲スモ議員ヨリ議長ヲ公選スルモ共ニ便宜ニ處置スルヲ得ヘク極メテ實際ニ適スルヲ信スルナリ

○四番黒田清綱 前動議ノ消滅セル以上ハ已ムヲ得ス此動議ニ左袒ス蓋シ單ニ議員ノ資格ノミヲ定ムルハ完備ヲ缺ケハナリ

○七番本田親雄 賛成

○十七番大久保一翁 賛成

○十八番林友幸 前動議ヲ賛成セルト同一ノ精神ヲ以テ今又賛成ヲ表ス

○議長 九番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○一番柴原和 本問題ハ前問題ニ比スレハ稍ヤ可ナレトモ未タ賛成ス

ル能ハス何ソヤ府知事縣令ニ報告スヘシト言ヘル是レナリ此一句ハ嘗テ本官等ノ提出セル報告案ニ載セタレトモ當時ノ旨趣タル區町村會ノ議長ハ議員ヨリ公選スル者ト爲スニ存セリ故ニ障礙ヲ見サルモ本問題ハ區戸長ニ事故アリテ議席ニ上ル能ハサル時ニ當リ議長ヲ公選スルニ在レハ區戸長ニシテ縣令等ノ招喚ヲ受ル爲メニ議長ヲ公選スル毎トニ府知事縣令ニ報告セサル可ラス而シテ一日内ニ數回ノ招喚ヲ受ルコトモ亦之レ有リ一一ニ報告ス可シトスルハ煩雜モ亦甚シ是レ本官ノ本問題ヲ非視スル所以ナリ

○四十二番渡邊洪基 本問題ノ失當ナルハ一番ノ已ニ辨スル所ノ如シ抑モ原案第十一條ノ如ク區戸長ニ事故アル時ニ於テ議員ヨリ議長ヲ

指定スルハ條理ニ合ス又前報告案ノ如ク議長ハ必ス議員ヨリ公選スル者ト爲スモ亦解ス可ラサルニ非サレトモ元來前會ニ於テ本條ヲ削除セル旨趣ハ二十七番ノ辨スル如ク必スシモ議長ノ公選ノミヲ擇フニ非ス要スルニ本條ハ其議事上ノ規則ニ關スル事項ニシテ第九條第十條ノ比ニ非サレハ寧ロ之レ無キヲ可ト爲セルノミ尙ホ一言ヲ要スル有リ區戸長ヲ議長ト爲スヲ非視セハ議長ヲ公選ト爲スモ本條ヲ恢復スルコトヲ望ムトハ內閣委員モ既ニ明言セル所ナレトモ本官ハ甚タ之ヲ異シム若シ原案ニ照シ區戸長ヲ議長ト爲サル可ラストセハ之カ恢復ヲ望ムハ聞クヲ得レトモ議長公選ノ一事ハ之ヲ本案ニ明示スルノ要用ヲ見ス蓋シ議會ニ在テ是等ノ規則ヲ作ルナレハ區戸長ヲ議長ト爲ササルニハ議長公選ノ一事ヲモ明

記スルヲ要スレトモ官府ニ於テ之ヲ作ルヤ若シ通常議院ノ慣習ニ沿ラサル區戸長ヲ議長ト爲ス如キ變法ナレハ宜ク之ヲ明示スヘキモ然ラサルニ之ヲ明示スルハ無益ナラスヤ故ニ前會ノ決議ニ據リ府知事縣令ニ委セテ區戸長ヲ議長ト爲スナリ議員ヨリ議長ヲ公選スルナリ各地方ノ便宜ヲ擇ヒ之ヲ定メシムルニ如カス本問題ハ半上落下ノ者ニシテ恐クハ實際ニ行フ能ハサル可シ因テ之ニ同意スル能ハス

○九番 細川潤次郎

反對論者ハ本官ノ修正文中ニ府知事縣令ニ報告スヘシト言ヘルヲ恠シムモ是レ決シテ恠シムニ足ラス抑モ區町村會ノ議長タル者ハ何人ナルヤ區戸長是レナリ區戸長ニ事故アリテ議長タルヲ得サル場合ニ在テ議員ヨリ議長ヲ公選ス故ニ其當選セル議

長ノ氏名ハ府知事縣令之ヲ知ラサル可ラス即チ此一段アル所以ナ  
 リ若シ區戸長ノ疾病等ノ事故ニ因テ臨時ニ議長ヲ公選スルハ宜ク  
 第二條ニ「其他ノ規則」ト言ヘル者ニ明示スヘシ之ヲ以テ概論スル  
 ハ頗ル其當ヲ失セリ蓋シ反對論者ノ動モスレハ本條ヲ輕視スルハ  
 初ヨリ之ヲ看テ議事上ノ規則ニ係ルト做スニ由ルナラン前陳ノ如  
 ク臨時ニ議長ヲ公選スルコトハ當サニ議事規則ニ掲クヘキモ本條  
 ハ會議ノ成立スル基礎ヲ定ムル者ニシテ第九條第十條ニ議員ノ資  
 格ヲ定ムルト輕重ヲ見ス故ニ本官等ハ敢テ之ヲ恢復セント欲スル  
 ナリ

○十四番 井田 讓

現問題ハ甚タ不可ナリ發議者ハ一番四十二番ノ駁論  
 ニ對シ本條ハ議長ノ資格ヲ定ムル者ナルヲ以テ要用ナリト云フモ

「區戸長事故アルトキハ議員中ヨリ公選シ府知事縣令ニ報告スヘ  
 シ」ト言ハ、發議者ノ常ニ口ニスル所ノ讀テ字ノ如ク解スルトキハ  
 區戸長ノ疾病若クハ公用ノ爲メニ臨時ニ議長ヲ公選スル場合ヲ包  
 含セストハ看ル能ハス故ニ曰フ現問題ハ甚タ不可ナリト

○二十七番 箕作 麟祥

恢復說ノ否決セル以上ハ他ニ動議ノ出ル無ル可シ  
 ト思量セシニ今又動議ノ出ルヲ見ル夫レ區町村會ノ議長ハ當然ニ  
 區戸長ノ兼帶スル者ト爲シ而シテ區戸長ニ事故アルトキ議員ヨリ  
 議長ヲ公選ス可シトハ何ノ謂ソ代理者ノ性質ヨリ觀察シ來ルモ已  
 レニ有スル權理ヲ他人ニ委託ス可ラサルノ理ナシ四十二番モ云ヘ  
 ル如ク原案第十一條ニ從ヒ區戸長ニ事故アルトキ議員ヨリ議長ヲ  
 指定ス可シト爲セハ條理ニ合スルモ當然ニ議長タル權理ヲ有スル

人ニシテ己レニ代ル者ヲ舉ル能ハスト云フハ條理ニ合セス「區戸長ニ事故アルトキハ議員中ヨリ公選シ云云報告スヘシ」ト云フニ關シ發議者ハ臨時ニ議長ヲ公選セル場合ヲ指スニ非ストシテ自說ヲ護持スルモ然ク解スル能ハサルハ只今十四番ノ辨スル所ノ如シ故ニ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ本問題ヨリハ寧ロ原案第十一條ノ是ナルニ若カスト信スルナリ

○四十四番 三浦安

本官ハ嘗テ云ヘリ此第四百三十八號議案ハ全部毫モ修正ヲ要セスト而シテ第二讀會ニ二十七番ノ提出セル第六條ノ字句ノ修正ニ同意セシモ其他ハ今仍ホ原案ヲ是認ス過刻原案第十一條ノ恢復說ニ左袒セシモ其消滅ニ屬セシ以上ハ現問題ニ左袒セサルヲ得ス抑モ府縣會ノ議事ハ通常三十日内外ノ日子ヲ要シ區町

村會ノ議事ハ十日乃至二十日ヲ要ス可ク而シテ區戸長ハ公用等ニテ此間ニ議場ニ登ル可ラサル事故ノ在ル有ラン本條ハ斯ル場合ニ議長ヲ公選スルコトヲ言フ者ニシテ一番ノ云ヘル場合トハ大ニ異ナリ彼レカ如キハ宜ク議事規則中ニ載スヘキナリ語ヲ換テ之ヲ云ヘハ本條ハ一期間ノ議長ヲ選フコトヲ示ス者ニシテ所謂變通法ナリ故ヲ以テ公選スヘシト言フモ府知事縣令ニ報告スヘシト言フモ決シテ障礙ヲ見サルナリ報告ヲ爲スノ煩雜ナルヲ舉テ不同意ヲ唱フルハ本官ノ服セサル所ナリ原案恢復說既ニ消滅シテ議長ノ資格ヲ示ササルニ比スレハ寧ロ本問題ヲ優レリトス因テ之ニ可決センコトヲ望ム

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取シ九番ノ動議ニ同意スル者ハ起

立セヨ

起立者九人

○議長 少數ナルヲ以テ九番ノ修正恢復説ハ消滅ス

○三十二番 大鳥圭介 過刻豫言シタル修正説ヲ提出セシ此修正説タル前

議案下付ノ時ニ於テ全部付託調査委員ノ提出セル報告案ト同シク又第二讀會ニ於テ某議官ノ提出セル動議ニ異ナラス即チ區町村會ノ議長ハ議員中ヨリ公選シ府知事縣令ニ報告スヘシト爲ス是レナリ其理由ハ大略第二讀會ニ陳述セル所ノ如シ本官ハ以爲ラク議員ノ資格ヲ明示シテ獨リ議長ノ資格ヲ示ササルハ體裁ヲ得スト本官ハ前會ニ論辨セシ後ニ於テ本條ヲ削除スルニ左袒セシモ若シ之ヲ削除スレハ議長ノ公選モ亦爲スヲ得サルニ非ス然ルニ本日ハ選舉

ノ二字ヲ加フル修正説モ行ハレス而シテ第九條第十條ノ見存セル以上ハ今此修正説ヲ提出セサルヲ得ス若シ全ク議長ノ資格ヲ示ササレハ猶ホ手足アリテ頭顱ナキカコトシ原案第十一條ヲ恢復セン乎見ニ區戸長ニシテ區町村會ノ議長ヲ兼帶セサル慣例アレハ今之ニ違フ可ラス是レ議長公選ノ修正説ヲ提出スル所以ナリ論者或ハ本條ヲ看テ瑣末ノ事項ト做シ以テ要用ナラスト云フモ其然ラサルハ前陳セル者ノ如シ又其議長ノ資格ヲ定ムルハ第二條ノ「其他ノ規則」ト言ヘル語句ノ中ニ包含スト云フモ元來議長及ヒ議員ノ資格ヲ定ムルハ會法中ニ於テ特ニ肝要ナル者ナリ然リ而シテ議員ノ資格ヲ特記セルニ拘ラス議長ノ資格ヲ定ムルコトハ「其他ノ規則」ト言ヘル語句ノ中ニ包含スト云フハ恐クハ衆人ノ解セサル所ナラン因

テ幸ニ定數ノ賛成者ヲ得テ此修正說ノ問題ト爲シコトヲ望ム

○二十番宮本 小一 三十二番ヲ賛成ス實ハ區戸長ヲ議長ト爲シ之カ變通

法トシテ議員ヨリ議長ヲ公選スルヲ今日ノ時勢ニ適ス可シト考フルモ前動議ノ消滅セル以上ハ復タ已ムヲ得サルナリ

○三十番榎村 正直 第二讀會ニ於テ原案第十一條ニ對シ本官等ノ提出セ

ル報告案ト同一ノ修正說出タルヲ以テ之ニ左袒セリ然ルニ其消滅ニ歸セル爲メニ已ムヲ得ス本條ヲ削除スルニ同意セシモ今又前會ト同一ノ修正說出タルヲ以テ喜テ之ヲ賛成ス

○二十五番鍋島 直彬 賛成

○十五番關口 隆吉 賛成

○十四番井田 讓 賛成ス本官ハ前會ニ已ムヲ得ス原案第十一條ヲ削除

スルニ同意セシモ第二條ニ選舉ノ二字ヲ加フル能ハス第九條第十條ヲ存留スル以上ハ再ヒ思想ヲ變セサルヲ得サレハナリ

○三十六番渡邊 清 賛成

○議長 三十二番ノ修正說ハ定數以上ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○四十二番渡邊 洪基 本問題ハ一理ナキニ非ス然レトモ原案第十一條ノ

如ク區戸長ヲ議長ト爲スナレハ格別ナルモ議長ノ公選ヲ是認スル以上ハ特ニ明示スルヲ要セス蓋シ議員ヨリ議長ヲ公選スルハ各地皆同一轍ナルヲ以テナリ且ヤ區戸長ヲ議長ト爲スハ内閣ノ望ム所ナルニ今其望ヲ破ルノミナラス漫ニ此事項ヲ載ルハ恐クハ蛇足タルヲ免レヌ之ヲ要スルニ本問題ノ意思ハ是ナラサルニ非サルモ此

等ノ事項ハ法律ニ明記スルヲ須ヒス

○一番柴原和前キニ九番ハ數回ノ動議ヲ發セリ其精神ハ本官ト同一

ナレトモ本官ノ其動議ニ左袒セサリシハ過刻既ニ陳辨セル者ノ如シ只今三十二番ノ提出セル動議ハ頗ル其宜キヲ得タリ因テ之ヲ贊成ス蓋シ區會ノ議案ハ區長之ヲ發シ町村會ノ議案ハ戶長之ヲ發スルニ區戶長ヲ以テ其議會ノ議長ト爲スハ穩當ナラス但シ本條ヲ削除セル以上ハ既ニ此患害ヲ醫セルニ似タルモ第九條第十條ノ事項スラ府知事縣令ニ委任セサルナレハ第十一條ノ事項モ同ク之ヲ委任ス可キニ非ス反對論者ハ本條ノ事項ヲ瑣末ナリト云フモ第九條第十條ト何ソ擇ハン其レ然リ原案第十一條ハ穩當ナラス而シテ之ヲ削除スルモ亦穩當ナラサルヲ以テ三十二番ノ動議ニ可決センコ

トヲ望ムナリ

○二十七番箕作麟祥現問題ハ強テ駁撃スルヲ要セサルモ原案第十一條

ヲ恢復セサレハ法律ノ完備ヲ得スト云フハ承服スル能ハス殊ニ第九條第十條ヲ存留スル以上ハ原案第十一條ヲ恢復セサル可ラスト云フニ至テハ幾ント恠訝ニ堪ヘス夫レ第九條第十條ハ議員ノ資格ヲ示ス者ニシテ原案第十一條ハ議長選定ノ事項ヲ規定スル者ナレハ毫モ前二條ト關係ヲ有セス元來議員ノ資格ヲ定ムルハ四十四番モ云ヘル如ク稍ヤ重大ノ事項ナルカ故ニ前二條ヲ存留スルハ猶ホ可ナレトモ原案第十一條ハ決シテ同日ノ論ニ非ス然ルニ原案ノ區戶長ヲ議長ト爲スヲ止メテ議長ヲ公選スルト爲スモ仍ホ此條ヲ恢復セサル可ラスト云フハ何ノ謂ソ又其議長ノ事項ヲ定ムルハ第二



條ノ「其他ノ規則」ト言ヘル語句ノ中ニ包含スルヤ否ヤハ明瞭ナラ  
 スト云フ如キ瑣瑣タル理由ハ以テ本修正説ヲ提出スル理由ト爲ス  
 ニ足ラス蓋シ之ヲ此ニ明示セサルモ會議ニ議長ヲ要スルハ當然ノ  
 事項ナルヲ以テ府知事縣令ニ在テ議員ノ員數任期改選等ノ規則ヲ  
 定ムルト同ク之ヲ定ムルヤ疑ヒ無シ且ヤ今日ハ戸長選舉ノ一事ス  
 ラ未タ定メサル時ナレハ議長選舉ノ一事モ亦未タ定ム可ラス但シ  
 本官ヲ以テ之ヲ觀レハ他日戸長ハ必ス官選ト爲ル可キモ若シ之ヲ  
 官選ト爲シテ障礙ヲ生シタランニハ又之ヲ公選ニ更メサル可ラス  
 然レハ則チ今日議長ヲ公選ト定ムルモ乍チ改正ヲ要スルヤハ未タ  
 知ル可ラス此ノ如キ事情アル以上ハ宜ク之ヲ府知事縣令ニ委任シ  
 他日ヲ俟テ更ニ法律ヲ制スヘキノミ因テ本問題ヲ非認ス

○二十八番 楠本  
正隆

本案下付以來本官ハ疾病ノ故ヲ以テ久ク議場ニ登  
 ラス故ニ本案ニ對シテ意見ヲ陳ルハ實ニ今日ヲ以テ始メトス本案  
 ハ前日本官等ノ廢棄説ヲ唱ヘシ法案ト同一ナレハ本日ニ在テモ仍  
 ホ之ヲ是認スル能ハス然リト雖モ既ニ第二讀會ヲ經過セルヲ以テ  
 徒ニ廢棄説ヲ唱ヘス沈黙シテ今ニ迫ヘリ然ルニ議長ノ資格ヲ定ム  
 ルハ要用ナルヤ否ヤト云ハハ然ク嚴格ナル法律ヲ制定スル以上ハ  
 之レ有ルヲ要用ナリトス然レハ則チ原案第十一條ヲ恢復セン乎寧  
 ロ本問題ノ如ク議長ヲ公選ト爲スニ若カス因テ本官ハ三十二番ヲ  
 賛成ス

○三十二番 大鳥  
圭介

本官ノ修正説ニ對シテ種種ノ論説出ル有リ二十七  
 番ハ要用ナラスト云フ或ハ然ルヤヲ知ラサレトモ本官等ノ要用ナ

リト爲スハ過刻陳辨セル者ノ如シ又二十七番ハ區戸長ヲ議長ト爲スニ在レハ今日ノ事實ト同シカラサルヲ以テ之ヲ明示ス可キモ議長ヲ公選スルハ從來ノ慣例ニ異ナラス故ニ要用ナラスト云ヘリ是レ本官等ト意見ヲ異ニスル所以ニシテ要スルニ本官等ハ今日ノ事實ニ關セス區町村會ノ組織ヲ定ムル法律ヲ制スルニ在レハ之ヲ要用ナリト爲スナリ若シ法律ヲ制スルニ從前ノ規則ニ無キ者ハ之ヲ載セ其有ル者ハ之ヲ省クヲ可ナリトセハ法律ノ首尾貫徹セス爲メニ讀者ヲシテ其意ヲ解スルニ困シマシム可シ故ニ本官等ハ議長ノ公選ハ今日ノ事實ト同シキモ之ヲ明示スルヲ要用ナリト信ス本條ト第九條第十條ト牽連スルハ問題賛成者ノ同シク説ク所ナルヲ以テ縱令駁撃ヲ來セルモ本官ハ強テ辨白セサル可キナリ

○二十九番 津田  
眞道

本官ハ本案ヲ完全無瑕ノ者ト思惟セサルモ枉テ之ニ同意セリ是レ試ニ之ヲ實施シ障礙ヲ見ルニ會ヘハ其時ニ於テ改正スルモ可ナリト爲スニ由ル即チ九番ノ前修正説ハ之ヲ非認セサリシモ少シク時機ヲ失シテ起立ヲ表セス又其後修正説ニハ所思アリテ起立ヲ表セス而シテ三十二番ノ只今ノ修正説ニ對スル本官ノ意見ハ恰モ四十四番ト同ク區戸長ヲ議長ト爲スナレハ格別ニ屬スレトモ議長ノ公選ヲ可トスル以上ハ之ヲ明示スルヲ要セス寧口前會ノ決議ヲ是認ス是レ蓋シ第二條ニ「其他ノ規則」ト言ヘルヲ以テ區戸長ヲ議長ト爲スモ議長ヲ公選スルモ府知事縣令ノ便宜ニ之ヲ定ムルヲ得レハナリ

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取シ三十二番ノ動議ニ同意スル者

○ハ起立セヨ

起立者十三人

○議長 少數ナルヲ以テ三十二番ノ修正説ハ消滅ス他ニ發議ナクハ

過刻朗讀セル修正案第十一條ノ決ヲ取シ本條ヲ可トスル者ハ起立

セヨ

起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

第十三條 府知事縣令ハ數區町村ニ關涉スル事件アルトキ其區域

ヲ定メテ聯合區町村會ヲ開設スルコトヲ得

○議長 發議ナキヲ以テ本條ハ可決ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

第十四條 府知事縣令ハ水利土功ニ關スル事項ニシテ區町村會若

クハ聯合區町村會ニ於テ評決スルヲ得サルモノアルトキ特ニ其

區域ヲ定メテ水利土功會ヲ開設スルコトヲ得

○議長 本條ハ可決ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

第十五條 聯合區町村會及水利土功會ハ總テ本法ニ準據ス其區域

區長戸長數人ノ所轄ニ涉ルモノハ府知事縣令便宜郡區長ヲシテ

之ヲ管理セシム但戸長ヲシテ其評決ヲ施行セシムルコトアルハ

シ

○右奉 勅旨布告候事

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ此ニ第四百三十八號議案ノ第三讀會ヲ畢リ直ニ第四百三十九號議案ノ第三讀會ニ移ル

書記官 森山茂 朗讀

布告案

及ヒ水利土功會ニ於テ評決シタル土木費

○區町村會ニ於テ評決シタル區町村費ノ怠納者ハ總テ明治十年十一月

第七拾九號布告ニ據リ處分ス可シ若シ但財產公賣ノ際買受望人ナキト

キハ官没ノ手續ヲ爲サス郡區長又ハ戶長ニ於テ之ヲ管掌シ區町村

會議ノ評決ヲ取り府知事縣令ノ認可ヲ得テ處分ス可シ

但明治十四年四月第二十四號布告ハ廢止ス

右奉 勅旨布告候事

○十四番 井田讓 本官ハ前會ニ廢案說ヲ主張セシモ少數ニシテ其意ヲ

果サス我カ同論者ナル四十四番モ當時縷縷廢棄ニ付ス可キ理由ヲ

陳辨セリ因テ本日ハ復タ多辨ヲ要セサルモ聊カ一言セン抑モ第四

百三十八號議案ハ原案賛成者ノ企望セル如ク決定シ區町村會提轄

ノコトモ戶長官選ノコトモ亦行ハレタル以上ハ隨テ區町村費ノ怠

納者ヲ減ス可シ然ルニ此嚴法ヲ併發スルハ四十四番ノ云フ如ク鬼

臉ヲ被フリテ劫嚇スルノ感ナキ能ハス且夫レ今日之ヲ發布セサル

モ他日必要ノ場合ニ際シ之ヲ發布スルモ晚カラス故ヲ以テ本案ハ

暫ク廢棄ニ付スルヲ可トス幸ニ定數ノ賛成者ヲ得テ此廢棄說ノ問

題ト爲ランコトヲ望ム